基本計画書

	基		本			計		画						
事	項		章	2	入		欄			備考				
計	画の区分	研究科の専攻の	設置											
フ	リ ガ ナ	コクリツタ゛イカ゛クホウシ゛ン		b * ク										
設フ	ひまれる おりまれる ガン・ナー	国立大学法人												
大		ヤマガタダイガクダイカ 山形大学大学院		e School	of Yamagata U	niversity)								
大	学本部の位置	山形県山形市小	白川町一丁	「目4番1	2号									
大		山形大学は,教 識を授けるととも 的民主的な国家社: 本大学院は,学 る職業を担うため	に,深く専 会の形成に 術の理論及	門の学芸 寄与し, び応用を	を教授研究し知 文化の向上及び 教授研究し,そ	中的道徳的及 ド産業の振興 この深奥を究	び応用的能 に貢献する め,又は高	力を展開 ことを目 度の専門	させて, 平和 的とする。 性が求められ					
新	設学部等の目的	情報科学や数理 次世代の情報産業 ジカル空間を融合	およびその	基盤技術	を構築できる人	、材やデジタ	ル技術によ	りサイバ						
	新設学部等の名称		編入学 定 員	収容 定員	学位	学位の分		時期及 設年次	所在地					
新設学部等の概要	数理情報システム専攻計	2 88	年次 人 人 一 176 修士 (情報理 工学) 一 176 修士 (情報理 工学) 関係 理学関係、工学 関係 第1年次 183 143 一 176 修士 (情報理 工学) 単学 第1年次 176 加形県北沢市城南4 学学 スミ 科 科 川町一丁目4番12号											
変 (一設置者内における 更 状 況 定員の移行, 称の変更等)	理工学研究科 情報・エレクト 理学専攻(M)[社会共創デジタル・ 人文社会社会科学学 地域教教育文育文化学に 理学部 理学科 (社会:	定員減](2 学環 【30 (社会共 科 (社会	△6) (令章 ○】 (令和e 注創デジタ。 :共創デジ	和7年4月)	き) 【10】)(令 な【10】)(和7年4月) 令和7年4月		上募集停止					
教育	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数 講義 演習 実験・実習 計												
課程	理工学研究科 数理情報システム専攻	26科目		3科目	3科目		2科目		30単位					
	研究科等の名称		教授	准教授	専任教員講師	助教	計	助手	専任教員以外の 教 員 (助手を除く)					
新設分	理工学研究科 数理情報 (博士前期課程)	システム専攻	人 16 (16) 16	17 (17)	人 0 (0)	人 6 (6)	人 39 (39) 39	0 (0)	人 0 (0)					
ガ	計		(16)	(17)	(0)	(6)	(39)	(0)	(—)					
既	社会文化創造研究科 社 (修士課程)	会文化創造専攻	49 (58)	26 (26)	16 (16)	0 (0)	91 (100)	0 (0)	12 (12)					
	医学系研究科 医学専攻 (博士課程)		22 (24)	21 (21)	12 (12)	63 (63)	118 (120)	0 (0)	0 (0)					

	医学系研究科 看護学専攻 (博士前期課程)		6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	
	((6)	0	0	0	7	0	0	
	(博士後期課程)		(7)	(0)	(0)	(0)	(7)	(0)	(0)	
	医学系研究科 先進的医科学	専攻	8	6	2	18	34	1	0	
	(博士前期課程)	キル	(8) 8	(6) 6	(2)	(18) 18	(34)	(1)	(0)	
	医学系研究科 先進的医科学 (博士後期課程)	·导以	(8)	(6)	(2)	(18)	(34)	(1)	(0)	
	理工学研究科 理学専攻		32	20	4	7	63	0	16	
	(博士前期課程)		(33)	(20)	(4)	(7)	(64)	(0)	(16)	
	理工学研究科 機械システム (博士前期課程)	工学専攻	16 (16)	12 (12)	0 (0)	7 (7)	35 (35)	0 (0)	0 (0)	
	理工学研究科 化学・バイオ	丁学専攻	14	13	0	10	37	0	0	
設	(博士前期課程)		(14)	(13)	(0)	(10)	(37)	(0)	(0)	
	理工学研究科 建築・デザイ	ン・マネジ	6	4	0	2	12	0	0	
	メント専攻(博士前期課程) 理工学研究科 地球共生圏科	学 市 改	(6) 35	(4) 18	(0)	(2)	(12) 56	(0)	(0) 7	
	(博士後期課程)	子导以	(36)	(18)	(3)	(0)	(57)	(0)	(7)	
	理工学研究科 先進工学専攻		43	42	0	11	96	0	0	
	(博士後期課程)		(43)	(42)	(0)	(11)	(96)	(0)	(0)	
	有機材料システム研究科 有 テム専攻(博士前期課程)	機材料シス	19 (19)	10 (10)	0 (0)	3 (3)	32 (32)	0 (0)	0 (0)	
	有機材料システム研究科 有	機材料シス	19	16	0	(3)	37	0	0	
	テム専攻(博士後期課程)	198011111	(19)	(10)	(0)	(2)	(31)	(0)	(0)	
	農学研究科 農学専攻		20	30	0	9	59	0	0	
	(修士課程)	· T.L.	(22)	(29) 6	(0)	(9)	(60)	(0)	(0)	
	教育実践研究科 教職実践専 (専門職学位課程)	· 火	6 (7)	(6)	(2)	(0)	14 (15)	(0)	1 (1)	
分			310	233	42	150	735	2	_	
	計		(326)	(226)	(42)	(150)	(744)	(2)	(—)	
	合 計		326 (342)	250 (243)	42 (42)	156	774 (783)	2 (2)	— (—)	
	職 種			<u>(243)</u> 専 属	(42)	(156) その他		(2) F		
	198			· 1 //-1	人	C -> C	人	н	· 人	
	事 務 職	員		354		264		61		
				(354)		(264)		(61	,	
	技 術 職	員		1, 112 (1, 112)		308 (308)		1, 4: (1, 4		
	図 書 館 職			6		0		6		
	図 書 館 職	員		(6)		(0)		(6		
	その他の耶) 員		7 (7)		8 (8)		15 (1)		
	II. W. Ib	la.		0		0		0	_	
	指 導 補 助	者		(0)		(0)		((
	計			1, 479		580		2, 0		
-				(1, 479)	<u> </u>	(580) 共用する	細の	(2, 0		
校	区 分	専	用	共	用	学校等の		Ê	r	
地	校舎敷地	50	00, 173 m²		— m²		— m²		500, 173 m²	
	その他	7, 92	27, 854 m²		— m²		— m²	7	, 927, 854 m²	
等	合 計	8, 42	28, 027 m²		— m²		— m²	8	, 428, 027 m²	
		専	Ħ	共	用	共用する		·	 	
	校舎			<i></i>		学校等の		п		
	汉 百	08, 498 m ²		— m²	,	— m²	,	208, 498 m²		
	(205, 89			(-	— m²)	(—	m [*])		, 897 m ²)	
					演習:	室	新設研究			
	義室等・新設研究科等		集義室 実験・実習室					専任教員		
の	専任教員研究室		73室 369室				55室			
L							0011		97室	
	•									

	T		図:	書			学行	 所雑誌			機械・	器具	標本	1
	新部	と 学部等の名称	〔うち外	_	電子	図書		外国書〕	電子ジャ	ーナル	1000 1000	1117		
図書				Ħ.	[うちタ	小 国書〕		利	重 〔うち外	国書〕		点	点	研究科単位 での特定不
		里工学研究科	1, 088, 313 [3	309, 660]	12, 782	4, 785]	25, 018	[7, 089]	8, 704 [7, 1	147]	4, 54	18	51	能なため、
設備	数理作	青報システム専攻	(1, 088, 313	[309, 660])	(12, 782	(4, 785))	(25, 018	[7,089])	(8, 704 [7,	147〕)	(4, 54	18)	(51)	大学全体の 数
VHI		計	1, 088, 313 [3	309, 660]	12, 782	4, 785]	25, 018	[7, 089]	8, 704 [7, 1	147]	4, 54	18	51	5X
			(1, 088, 313			(4, 785))		[7,089])	(8, 704 [7,	r	(4, 54		(51)	
		区分	開設前年	年度	第1年次	第2年次	第:	3年次	第4年次	第5年	年次	第	5年次	
経費 の見	経費	教員1人当り研究費等	/	_	_			_		_	-		_	
積り	の見 積り	共同研究費等		_	_	_		_		_	-		_	
及び 維持		図書購入費			_		-	_		_				国費による
方法		設備購入費			第1年次	第2年次	松	— 3 年次	第4年次	第 5 4		竺 /		
の概 要		学生1人当 納付金	á り		第1 年仏 一 千円	第 2 年 次 一 千		- 千円			+ (X · 千円		ー 千円	
	学生	E納付金以外の維			117	I	[]				1 1 1		1 17	
			称 山形大											
			₄ 修業	入学	編入学	収容	学	位又	収容定員	開設			шы	
	学音	第 等 の 名	年限	定員	定員	定員		称号	充 足 率	年度	所	在	玴	
			年	人	年次 人	人			倍					
	人文社	土会科学部												
				0.00	o Fry		376 1	(-1-")(-)		TI -books the		1 774	- 1 -t- 111	
	人	文社会科学科	4	290	3年次20	1200		(文学) (学術)	1. 07	平成29年度	山形県 町一丁			
							学士	(法学)				- ТШ		
								汝策科学) 経済学)						
							, — `	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
	人文学	学部												
														Ti-books the late
	人	間文化学科	4	_	-		学士	(文学)	_	平成8年度	山形県 町一丁			平成29年度より 学生募集停止
												- ТШ		
	地域	教育文化学部												
	地:	域教育文化学科	4	175	<u> </u>	700	学士(教育学)	1. 03	平成24年度	山形県	山形市	5小白川	
							学士	(学術)			町一丁	目4番	12号	
	理学部	FS												
既設														
大	理	学科	4	210		840	学士	(理学)	1. 05	平成29年度	山形県 町一丁			
学等											_1 1	HIE	127	
0)	医学品	FIS .												
状況	医:	学科	6	113	_	684	学士	(医学)	1. 02	昭和48年度	山形県	山形市	飯田西	
10L				110		001	,	(, ,			二丁目	2番2号	1	
	看	護学科	4	60	3年次	250	学士(看護学)	0. 97	平成5年度		同上		
					D D									
	工学部	FB												
	声.	分子・有機材料コ	L 4	140		560	学十	(工学)	1 09	平成29年度	山形圓	米沢さ	城南加	
	学		- 4	140		500	十 工	(エナ)			丁目3番		··从市 凹	
	化	学・バイオ工学科	4	140		560	学士	(工学)	1. 03	平成29年度		同上		
	信:	報・エレクトロニ	= 4	150		600	学十	(工学)	1 08	平成29年度		同上		
		ス学科	4	100		000								
	機	械システム工学科	4	140		560	学士	(工学)	1. 05	平成2年度		同上		
	建	築・デザイン学科	¥ 4	30		120	学士	(工学)	1. 19	平成29年度		同上		
							, –	- /						
			-			-								-

	システム創成工学科	4	50	-	200	学士(工学)	1. 02	平成22年度	同上	
	農学部									
	食料生命環境学科	4	165	_	660	学士 (農学)	1.04	平成22年度	山形県鶴岡市若葉町 1番23号	
	大 学 等 の 名 称	山形大	:学大学院							
	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員充 足率	開設 年度	所 在 地	
		年	人	年次人	人		倍			
	社会文化創造研究科									
	(修士課程)									
	社会文化創造専攻	2	24	_	48	修士(文学) 修士(政策科学)	1.10	令和3年度	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
						修士(臨床心理学)			, 1 H I H I B I B I	
						修士(学術)				
	医学系研究科									
	(博士課程)									
	医学専攻	4	26	_	104	博士 (医学)	0.98	昭和54年度	山形県山形市飯田西	
	(博士前期課程)								二丁目2番2号	
	看護学専攻	2	10	_	20	修士 (看護学)	1.38	平成9年度	山形県山形市飯田西	
	先進的医科学専攻	2	6	_	12	修士 (医科学)	1.50	平成29年度	二丁目2番2号 同上	
	(博士後期課程)									
	看護学専攻	3	3	_	9	博士(看護学)	1.66	平成19年度	山形県山形市飯田西	
	先進的医科学専攻	3	4	_	12	博士(医科学)	1. 25	平成29年度	二丁目2番2号 同上	
	理工学研究科									
	(博士前期課程)									
	理学専攻	2	53		106	修士(理学)	1. 29		山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
	機械システム工学専 攻	2	63	_	126	修士 (工学)	1. 19	平成5年度	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
既	化学・バイオ工学専 攻	2	67		134	修士(工学)	1.08	令和3年度	同上	
設大	建築・デザイン・マ ネジメント専攻	2	12		24	修士(工学)	1.00	令和3年度	同上	
学等	ものづくり技術経営 学専攻	2		_	_	修士 (工学)	_	平成17年度	同上	令和3年度より学 生募集停止
の 状	(博士後期課程)									
況	地球共生圏科学専攻	3	5	_	15	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	1. 33	平成11年度	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
						14 (1 kii)				

先進工学専攻	3	16	-	16	博士 (工学)	0.62	令和5年度	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
物質化学工学専攻	3	_	_	_	博士(工学)	_	平成28年度		令和5年度より学 生募集停止
バイオ工学専攻	3	_	_	_	博士(工学) 博士(学術)	_	平成22年度	同上	令和5年度より学 生募集停止
電子情報工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学) 博士 (学術)	_	平成22年度	同上	令和5年度より学 生募集停止
機械システム工学専 攻	3	_	_	_	博士 (工学) 博士 (学術)	_	平成22年度	同上	令和5年度より学 生募集停止
ものづくり技術経営 学専攻	3	_	_	_	博士(工学) 博士(学術)	_	平成19年度	同上	令和5年度より学 生募集停止
有機材料システム研究科			_						
(博士前期課程)									
有機材料システム専 攻 (博士後期課程)	2	98		196	博士 (工学)	1. 12	平成28年度	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
有機材料システム専 攻	3	10	_	30	博士(工学)	1.46	平成28年度	山形県米沢市城南四 丁目3番16号	
農学研究科									
(修士課程)									
農学専攻	2	38	_	76	修士 (農学)	1. 42		山形県鶴岡市若葉町 1番23号	
教育実践研究科									
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士(専門職)	1.05	平成21年度	山形県山形市小白川 町一丁目4番12号	
									<u> </u>

名 称:医学部附属病院

目 的:診療を通して、教育、研究及び学生の臨床実習の場を提供する。

所 在 地:山形県山形市飯田西二丁目2番2号

設置年月:昭和51年5月

規 模:土地 71,275 ㎡, 建物 56,181 ㎡

名 称:農学部附属やまがたフィールド科学センター(農場・演習林)

目 的:環境保全型農林業の実践教育や自然と人間との関係を結ぶ体験学習の場を提供する。

所 在 地: (農場) 山形県鶴岡市高坂字古町5番3号

(演習林) 山形県鶴岡市上名川字早田川10

設置年月:昭和24年5月

規 模: (農場) 土地 240,655 ㎡, 建物 4,067 ㎡ (演習林)土地 7,530,908 ㎡, 建物 885 ㎡ 名 称:ものづくりセンター(実習工場)

目的:工学部の全学科を対象とした実習工場としての場を提供する。

所 在 地:山形県米沢市城南四丁目3番16号

設置年月:平成22年4月 規 模:建物 2,434 ㎡

名 称:附属学校(幼稚園,小学校,中学校,特別支援学校)

目 的:教育実習指導、大学との共同研究に取り組み、地域教育拠点となる。

所 在 地: (附属幼稚園) 山形県山形市松波二丁目7番1号

(附属小学校) 山形県山形市松波二丁目7番2号 (附属中学校) 山形県山形市松波二丁目7番3号

(附属特別支援学校) 山形県山形市飯田西三丁目2番55号

附属施設の概要

設置年月:昭和26年4月(幼稚園,小学校,中学校)

昭和49年4月(特別支援学校)

規 模: (附属幼稚園) 土地 13,442 m², 建物 992 m²

(附属小学校) 土地 21,791 ㎡, 建物 7,535 ㎡ (附属中学校) 土地 24,761 ㎡, 建物 6,852 ㎡ (附属特別支援学校) 土地 19,831 ㎡, 建物 3,982 ㎡

名 称:国際事業化研究センター

目 的:国際的な視野からの実用化の研究促進,研究成果の事業化・産業化及び研究成果を

実用化できる人材を育成する。

所 在 地:山形県米沢市城南四丁目3番16号

設置年月:平成21年4月

規 模:建物 2,661 ㎡

名 称:工学部学術情報基盤センター

目 的:工学部における学術情報基盤の整備充実を図り、情報メディアの利活用を支援し、

教育及び研究の進展に寄与する。

所 在 地:山形県米沢市城南四丁目3番16号

設置年月:平成21年10月 規 模:建物 870 ㎡

名 称:工学部国際交流センター

目 的:外国人留学生が円滑な学業・研究生活を送るための教育や、日本人学生がグローバル 化に対応できる能力を育成するための指導及びコミュニケーション能力の向上のための

教育を行う。

所 在 地:山形県米沢市城南四丁目3番16号

設置年月:平成21年10月 規 模:建物 1,408 ㎡

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学 にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとすること。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「一」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人山形大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度 λ^{g} 編 λ^{g} 収容 λ^{g} 令和7年度 λ^{g} 編 λ^{g} 収容 変更 λ^{g} 変更 λ^{g}

山形大学 人文社会科学部 290 20 1,200 地域教育文化学部 地域教育文化学科 175 - 700 理学部 理学科 210 - 840 医学部 医学科(6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 化学・バイオ工学科 140 - 560 機械システム工学科 140 - 560 機械システム副成工学科 30 - 120 システム副成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660	人文社会科学部 人文社会科学科	290		
人文社会科学科 290 20 1,200 地域教育文化学部 地域教育文化学科 175 - 700 理学部 理学科 210 - 840 医学部 医学科(6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 情報・エレクトロニクス学科 150 - 600 機械システム工学科 140 - 560 健業・デザイン学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学専攻(4年制) 24 - 48 医学系専攻(4年制) 25 660 を料生命環境学科 165 - 660 を料生命環境学科 165 - 660 を料生の医科学専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 有機材料システム工学専攻(M) 6 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 6 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 6 - 12 4 世楽・デザイン・マネジメント専攻(M) 6 - 12 4 世楽・デザイン・マネジメント専攻(M) 6 - 13 4 情報が料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 最	人文社会科学部 人文社会科学科	290		
大文社会科学科 地域教育文化学科 地域教育文化学科 理学部 理学科 医学科(6年制) 105 - 630 34 次 看護学科 140 - 560 化学・バイオエ学科 140 - 560 化学・バイオエ学科 140 - 560 機械システム工学科 140 - 560 機械システム財産 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造研究科 社会文化創造呼取(M) 24 - 48 医学専攻(A年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 26 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学・事攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 166 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(D) 16 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196	人文社会科学科	290		
大文社会科学科 地域教育文化学科 地域教育文化学科 理学部 理学科 医学科(6年制) 105 - 630 34 次 看護学科 140 - 560 化学・バイオエ学科 140 - 560 化学・バイオエ学科 140 - 560 機械システム工学科 140 - 560 機械システム財産 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造研究科 社会文化創造呼取(M) 24 - 48 医学専攻(A年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 26 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学・事攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 166 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(D) 16 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196	人文社会科学科	290		
地域教育文化学科 175 - 700 理学部 210 - 840 医学部 医学科(6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 代学・バイオ工学科 140 - 560 機械システム工学科 140 - 560 健業・デザイン学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 165 - 660 175		230		1 200
地域教育文化学科 理学部 理学科 医学部 医学科(6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 化学・バイエ学科 140 - 560 機械ンステム工学科 140 - 560 健築・デザイン学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660			20	1,200
理学部 理学科 (6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 化学・バイオ工学科 140 - 560 機械・ステム工学科 150 - 600 機械・ステム工学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 加形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造研究科 社会文化創造事攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 電影学専攻(M) 6 - 12 電影・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196				
世学科 医学部 医学科(6年制) 105 - 630 3年次 看護学科 60 5 250 工学部 高分子・有機材料工学科 140 - 560 情報・エレクトロニクス学科 150 - 600 機械システム工学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 加形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造研究科 社会文化創造等攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(M) 6 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76		1/5	_	/00
医学科(6年制) 105 — 630 3年次				
医学科(6年制) 105 - 630 3年次	理学科	210	_	840
3年次 140 560 5 250 1298 140 560 140 560 140 560 140 560 140 560 140 560 140 560 140 560 140 140 560 140 140 560 140 140 560 140 560 140 140 560 140 140 560 140 140 560 140 140 560 140 140 560 140 140 140 140 150 14	医学部			
	医学科(6年制)	105	_	630
正学部 高分子・有機材料工学科 140 − 560 化学・バイオ工学科 140 − 560 情報・エレクトロニクス学科 150 − 600 機械システム工学科 30 − 120 システム創成工学科 50 − 200 農学部 食料生命環境学科 165 − 660 加形大学大学院 社会文化創造専攻(M) 24 − 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 − 104 看護学専攻(M) 10 − 20 先進的医科学専攻(M) 6 − 12 看護学専攻(D) 3 − 9 先進的医科学専攻(D) 4 − 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 − 106 機械システム工学専攻(M) 63 − 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 − 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 代学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 − 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 − 196 有機材料システム専攻(D) 10 − 30 農学専攻(M) 38 − 76			3年次	
正学部 高分子・有機材料工学科 140 − 560 化学・バイオ工学科 140 − 560 情報・エレクトロニクス学科 150 − 600 機械システム工学科 30 − 120 システム創成工学科 50 − 200 農学部 食料生命環境学科 165 − 660 加形大学大学院 社会文化創造専攻(M) 24 − 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 − 104 看護学専攻(M) 10 − 20 先進的医科学専攻(M) 6 − 12 看護学専攻(D) 3 − 9 先進的医科学専攻(D) 4 − 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 − 106 機械システム工学専攻(M) 63 − 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 − 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 − 126 代学・パイオ工学専攻(M) 67 − 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 − 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 − 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 − 196 有機材料システム専攻(D) 10 − 30 農学専攻(M) 38 − 76	看護学科	60	5	250
高分子・有機材料工学科 140 - 560 化学・バイオ工学科 140 - 560 情報・エレクトロニクス学科 150 - 600 機械システム工学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 加形大学大学院 社会文化創造研究科 165 - 660 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 25 - 104 看護学専攻(A年制D) 26 - 104 看護学専攻(B) 10 - 20 先進的医科学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 126 (大・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 (大・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 (大・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 (大・デザイン・マネジメント専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント専攻(M) 63 - 126 (大進工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 (大・ボイオ工学専攻(M) 63 - 126 (大・ボイオ工学専攻(M) 65 - 15 (大進工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 (大・ボーステム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	
化学・バイオ工学科 140 - 560 情報・エレクトロニクス学科 150 - 600 機械システム工学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 加形大学大学院 165 - 660 計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 165 - 660 社会文化創造研究科 165 - 660 を学系研究科 24 - 48 医学系研究科 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 126 根域システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 - 126 化学・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 対験・エピークス・ロークス・ロークス・ロークス・ロークス・ロークス・ロークス・ロークス・ロ	•	140	_	560
情報・エレクトロニクス学科 150 - 600 機械システム工学科 140 - 560 建築・デザイン学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 165 - 660 165 - 660 176 - 660 176 176 176 176 176 176 176 176 176 176				
機械システム工学科 30 - 120 システム創成工学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 加形大学大学院 1,655 25 6,880 山形大学大学院 25 6,880 山形大学大学院 25 6,880 山形大学大学院 25 6,880 山形大学内院 24 - 48 医学系研究科 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 63 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	
建築・デザイン学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科			_	
システム創成工学科 農学部 食料生命環境学科 50 - 200 農学部 食料生命環境学科 165 - 660 計 1.655 25 6.880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 76			_	
農学部 食料生命環境学科 165 - 660 計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 63 - 126 化学・パイオ工学専攻(M) 63 - 126 化学・パイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 様材料システム専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196		30	_	120
食料生命環境学科 165 - 660 3年次 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 25 6,880 1,655 1,555 1,555 1,555 1,555 1,555 1,555 1,555 1,555 1,555 1,	システム創成工学科	50	_	200
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	農学部			
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド	食料生命環境学科	165	_	660
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド				
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド				
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド				
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド				
計 1,655 25 6,880 山形大学大学院 社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 20 大進四学専攻(M) 10 - 10 大進位を表現した。 12 - 24 大力・ロークス専攻(M) 11 - 24 大力・ロークスを表現した。 12 - 24 大力・ロークスを表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジメント を表現した。 15 - 15 大き工学専攻(D) 16 - 48 大力・マネジストを表現した。 196 大き工学専攻(M) 98 - 196 大き工学・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド			2年物	
社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 15 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	=1	1.055		0.000
社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 15 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	āT	1,655	25	6,880
社会文化創造研究科 社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 15 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76				
社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	山形大字大字院			
社会文化創造専攻(M) 24 - 48 医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76				
医学系研究科 医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	社会文化創造研究科			
医学専攻(4年制D) 26 - 104 看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	社会文化創造専攻(M)	24	_	48
看護学専攻(M) 10 - 20 先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	医学系研究科			
先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	医学専攻(4年制D)	26	_	104
先進的医科学専攻(M) 6 - 12 看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	看護学専攻(M)	10	_	20
看護学専攻(D) 3 - 9 先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	12
先進的医科学専攻(D) 4 - 12 理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	
理工学研究科 理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 5 - 15 先進工学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76				-
理学専攻(M) 53 - 106 機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科		4	_	12
機械システム工学専攻(M) 63 - 126 化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76				400
化学・バイオ工学専攻(M) 67 - 134 情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科			_	
情報・エレクトロニクス専攻(M) 62 - 124 建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	
建築・デザイン・マネジメント 専攻(M) 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76		67	_	134
専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科	情報・エレクトロニクス専攻(M)	62	_	124
専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科				
専攻(M) 12 - 24 地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科	建築・デザイン・マネジメント			
地球共生圏科学専攻(D) 5 - 15 先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科		12	_	24
先進工学専攻(D) 16 - 48 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科	- · · · · · ·	E	_	15
有機材料システム研究科 有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76			_	
有機材料システム専攻(M) 98 - 196 有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76	75.C= 1 1 71.C-7	16	_	48
有機材料システム専攻(D) 10 - 30 農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科				
農学研究科 農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科			_	
農学専攻(M) 38 - 76 教育実践研究科		10	_	30
教育実践研究科	農学研究科			
教育実践研究科	農学専攻(M)	38	_	76
	教育実践研究科			
1/2m/スルスサス () / 20 40		20	_	40
	3人4%人以(すべ(! /	20		40
計 517 — 1,124	=-	E17		1 124
計 517 — 1,124	āT	31/		1,124

山形大学				
人文社会科学部		3年次		
人文社会科学科	290		1 200	
	290	20	1,200	
地域教育文化学部	475		700	
地域教育文化学科	175	_	700	
理学部				
理学科	210	_	840	
医学部				
医学科(6年制)	105	_	630	
		3年次		
看護学科	60	5	250	
工学部				
高分子•有機材料工学科	140	_	560	
化学・バイオ工学科	140	_	560	
情報・エレクトロニクス学科	150	_	600	
機械システム工学科	140	_	560	
建築・デザイン学科	30	_	120	
産業・デリイン子科 システム創成工学科				
	50	_	200	
農学部				
食料生命環境学科	165	_	660	
<u>社会共創デジタル学環</u>	<u>30</u>	_	<u>120</u>	学部等連係課程実施基本
				組織の設置(事前相談)
-				
		3年次		
計	1,655	25	6,880	
山形大学大学院				
社会文化創造研究科				
社会文化創造専攻(M)	24	_	48	
医学系研究科				
医学専攻(4年制D)	26	_	104	
看護学専攻(M)	10	_	20	
先進的医科学専攻(M)	6	_	12	
看護学専攻(D)	3	_	9	
			-	
先進的医科学専攻(D)	4	_	12	
理工学研究科				∴ □ *= /
理学専攻(M)	<u>47</u>	_	94	定員変更(△6)
機械システム工学専攻(M)	63	_	126	
化学・バイオ工学専攻(M)	67	_	134	
情報・エレクトロニクス専攻(M)	<u>0</u>	_	<u>0</u>	令和7年4月学生募集停止
<u>数理情報システム専攻(M)</u>	<u>88</u>	_	<u>176</u>	専攻の設置(事前相談)
建築・デザイン・マネジメント専攻(M)	12	_	24	
産来* / ソコン* マヤングノΓ导収(M/	12	_	24	
地球共生圏科学専攻(D)	5	_	15	
先進工学専攻(D)	16	_	48	
有機材料システム研究科				
有機材料システム専攻(M)	98	_	196	
有機材料システム専攻(D)	10	_	30	
農学研究科	10		50	
	20		76	
農学専攻(M)	38	_	76	
教育宝建研究到				
教育実践研究科	00		40	
教職実践専攻(P)	20	_	40	
=1				
計	537	_	1,164	

設置の前後における学位等及び基幹教員の所属の状況

盾	出 時	におり	ナる 状 況			亲	新 設 学 冬 了 時	部 等 の	学年進行 する状況		
	授与する	る学位等		基幹	教員		授与する	る学位等		基幹	教員
学部等の名称	学位又 は称号	学位又は 学科の分野	異 動 先	助教 以上	うち 教授	学部等の名称	学位又 は称号	学位又は 学科の分野	異 動 元	助教 以上	
			理工学研究科数理 情報システム専攻	33	12				理工学研究科理学 専攻	6	4
理工学研究科 情報・エレクトロ ニクス専攻(廃	修士 (工学)	工学関係	退職	3	3	理工学研究科 数理情報システ ム専攻	修士 (情報理工 学)	理学関係 工学関係	理工学研究科情報・エレクトロニクス 専攻	33	12
止)						ム导攻	子)				
			計	36	15				計	39	16
			理工学研究科数理 情報システム専攻	6	4				理工学研究科理学 専攻	69	35
理工学研究科理 学専攻	修士 (理学)	理学関係	理工学研究科理学 専攻	69	35	理工学研究科 理学専攻	修士 (理学)	理学関係			
1 4%	(-T-1-)		退職	5	5	2147	(<u>-</u> 1)				
			計	80	44				計	69	35

基礎となる学部等の改編状況

開設又は 改編時期	改 編 内 容 等	学 位 又 は 学 科 の 分 野	手続きの区分
昭和39年4月	工学研究科(繊維工学専攻、応用化学専攻、電気工学専攻、機械 工学専攻及び化学工学専攻) 設置	工学	設置認可(研究科)
昭和40年4月	工学研究科精密工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
昭和42年4月	工学研究科電子工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
昭和44年4月	工学研究科高分子化学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
昭和47年4月	工学研究科繊維高分子工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
昭和47年4月	工学研究科繊維工学専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
昭和54年4月	理学研究科(数学専攻、物理学専攻、化学専攻及び生物学専攻) 設置	理学	設置認可(研究科)
昭和57年4月	理学研究科地球科学専攻 設置	理学	設置認可(専攻)
昭和62年4月	工学研究科情報工学専攻及び高分子材料工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
昭和62年4月	工学研究科繊維高分子工学専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
平成5年4月	工学研究科(物質工学専攻、機械システム工学専攻、電子情報工 学専攻) 設置	工学	設置認可(専攻)
平成5年4月	工学研究科(応用化学専攻、電気工学専攻、機械工学専攻、化学 工学専攻、精密工学専攻、電子工学専攻、高分子化学専攻、情報 工学専攻及び高分子材料工学専攻)の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
平成8年4月	工学研究科生体センシング機能工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
平成11年4月	理工学研究科(物質工学専攻、機械システム工学専攻、電子情報 工学専攻、生体センシング機能工学専攻、数理科学専攻、物理学 専攻、物質生命化学専攻、生物学専攻及び地球環境学専攻) 設 置	工学、理学	設置認可(研究科)
平成16年4月	理工学研究科物質化学工学専攻、電気電子工学専攻、情報科学 専攻、応用生命システム工学専攻及び機能高分子工学専攻 設置	工学	設置認可(専攻)
平成16年4月	理工学研究科物質工学専攻及び電子情報工学専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
平成17年4月	理工学研究科ものづくり技術経営学専攻 設置	工学	設置届出(専攻)
平成19年4月	理工学研究科有機デバイス工学専攻 設置	工学	設置届出(専攻)
平成22年4月	理工学研究科バイオ化学工学専攻 設置	工学	設置届出(専攻)
平成22年4月	理工学研究科生体センシング機能工学専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
平成28年4月	理工学研究科機能高分子工学専攻及び有機デバイス工学専攻の 学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
平成29年4月	理工学研究科理学専攻 設置	理学	設置届出(専攻)
平成29年4月	理工学研究科数理科学専攻、物理学専攻、物質生命化学専攻、生物学専攻、地球環境学専攻の学生募集停止	理学	学生募集停止(専攻)
令和3年4月	理工学研究科化学・バイオ工学専攻、情報・エレクトロニクス専攻、 建築・デザイン・マネジメント専攻 設置	工学	設置届出(専攻)
令和3年4月	理工学研究科物質化学工学専攻、バイオ化学工学専攻、情報科学 専攻、電気電子工学専攻、ものづくり技術経営学専攻及び応用生 命システム工学専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)
令和7年4月	理工学研究科数理情報システム専攻 設置	工学、理学	設置届出(専攻)
令和7年4月	理工学研究科情報・エレクトロニクス専攻の学生募集停止	工学	学生募集停止(専攻)

													(用約		1	: 耒規	格A4縦型)
		教	育	課	利	呈	4	手	C	カ	ŧ	既	-	要			
(理工	学研究科数理情	報システム専攻)									1						
						単位数	ţ.	哲	受業形!	態		基	幹教員	等の酢	2置		
科目区分	授業和	目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
育基 科盤	地域創生・次世代	形成・多文化共生論	1前		2			0			1	2				9	
目教	小計 (1科目)				2	0	0		_	l	1	2	0	0	0	9	
基礎専門科目	異分野連携論 異分野実践研修 キャリア・マスス 研究者としてエンス Academic Skills Prezentations + 社会文化配理 技術経営学概論 食の未来を考える Global Materials 先端医科学特論 AIデザイン演習	で で こ Scientific Writing	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1		0 000 0 00000	0	0	1 3			1		1 1 1 7 3 1 3 1 3 8 1 15 0	オムニバス オムニバス オムニバス 標準外 標準外 オムニバス
	小計(13科目)		_		0	14	0		_		4	0	0	1	0	41	
[門高 科度 目専	数理情報システム 高度情報インター		1前 1通			2 2		0		0	2 16	17		6			オムニバス
Ⅱ科度	小計 (2科目) 佐報教 (2科目) 電情報教 (2科目) 電報教 (2科目) 電報教 (2科目) 電報教 (2科目) 一 (2科目) 一 (2科目) 一 (2科目) 一 (2科目) 一 (2科目) 一 (2科目) (2科目) (2科目) (2科目) (2科目) (2科目) (2科目) (32日日)	サイエンス特論 ニンサエ学特論 ・ンサエ学特論 ・ンサニック ・ション特論 ・フキ ・コース ・コース ・コース ・コース ・コース ・コース ・コース ・コース	一 1前前前後後前前後後前前後後前前後後前前後後前前後後前前後後一 1~22 — —		0 0 8 8 16	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0		0	0	16 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 15 16 16 16	17 1 1 2 2 2 2 1 1 1 3 17 17 17	0	1 1 1 1 1 1 6 6 6 6 6 6 6 6 6	0	0 0 0 49	
22.6								100	田で		10	11					
学	位又は称号 卒 業・	修士(情)		履修			は学科	斗の分	野					関係、 業期間		関係	
, 275 H-F							nev -	100		1 学年	三の学	期区名		ヘノソルド	1 11		2期
		単位、大学院基礎)を修得し、かつ									月の授						15週
つるこ		, 22,400, %	. 12 — ни	, , д.		- 100 /F S F		н ін			授業0						90分
														1			,,

¹ 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。

² 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合,大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

³ 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。

- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若し くは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 3 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除 く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課
 - 程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。 (1)各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、 前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」 を記入すること。

	教	育	課	科	星	4	手	C	D	ŧ	既	()11/1	要	• /		
(理工	学研究科数理情報システム専攻) 				単位数	'n	×	受業形	能	1	其	 全 数 昌	等の酉	7 置		
					十匹卯	ì	1,	(**///)	<u> </u>		265	HT TAN SH	(47 v) E			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
育基科盤	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前		2			0			1	2				9	
目教	小計 (1科目)	_		2	0	0		_	ı	1	2	0	0	0	12	
基礎専門科目	異分野連携論 異分野実践研修 キャリア・マネジメント 研究者としての基礎スキル データサイエンス Academic Skills: Scientific Prezentations + Writing 社会文化創造論 I 知財と倫理 技術経営学概論 食の未来を考える Global Materials System Innovation 先端医療科学特論	1後 11 11 16 16 16 16 16 16 16 16			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2		0 000 0 00000		0	1 3					1 1 1 7 3 1 3 1 3 8 1 15	オムニバス オムニバス オムニバス 標準外 標準外 オムニバス
	AIデザイン演習	1前			1			0					1		0	
	小計 (13科目)	-		0	14	0		_		4	0	0	1	0	41	
科度		1前 1通			2 2		0		0	2 16	17		6			オムニバス
目専	小計(2科目)	-	_	0	4	0		_	0	16	17	0	6	0	0	
高度専門科目Ⅱ	先端情報科学演習 機械学習・データサイエンス特論 数理・情報処理特論 応用情報処理・センサ工学特論 先端情報システム特論 高度数値シミュレーション特論 知識センサー情報工学特論 光波・通信工学特論 電子・量子デバイス特論 電力・エネルギー特論 小計(10科目)	1前 1前 1前 1後 1後 1前 1前 1後 1卷		0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0 0	-		2 1 1 1 1 1 2 2 2 12	1 1 2 2 2 2 2 1 1	0	1 1 1 1 1	0	0	
門高	数理情報システム特別演習	1~2通		8				0		16	17		6			
Ⅲ科度	数理情報システム特別研究	1~2通		8					0	16	17		6			
口号	小計(2科目)	_	-	16	0	0		_		16	17	0	6	0	0	
	合計 (28科目)	_	- 18 38					_		16	17	0	6	0	49	
学	位又は称号修士(情報			学位又は学科の分野									関係、			
	卒 業 ・ 修 了 要 件	及び	履修	方	法								業期間	等		
大学院	· 王基盤教育科目2単位、大学院基礎	専門科目	2 単位及	び高	度専	門科目	2 6		1 学年	三の学	期区分	}				2期
	(必修科目を含む)を修得し、かつ と	、修士論	文の審査	正及び	最終記	試験に	-合格			月の授						15週
すること。 1時限の授業の標準時間										90分						

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行 おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等 に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しく は届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうと する場合は,この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若し くは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は,大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は,「専任教員以外の教員(助手を除 く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課
 - 前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記 すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」 を記入すること。

小白川キャンパス

			 課	利		<u></u>		0	D	−	既	<u>(</u>)円が	要	• 1 7	-/1/96	恰 A 4 桃望 <i>)</i>
(理工	学研究科数理情報システム専攻)															
					単位数	ζ	擅	受業形	態		基	幹教員	等の酢	2置		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
育基 科盤	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前		2			0			1	2				9	
目教	小計 (1科目)	_		2	0	0		_		1	2	0	0	0	9	
基礎専門科目	異分野連携論 異分野実践研修 キャリア・マネジメント 研究者としての基礎スキル データサイエンス Academic Skills: Scientific Prezentations + Writing 社会文化創造論 I 知財と倫理 技術経営学概論 食の未来を考える Global Materials System Innovation 先端医療科学特論 AIデザイン演習	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1		0 000 0 000000	0	0	3	1		1		1 1 7 3 1 3 1 3 8 1 15 0	オムニバス オムニバス オムニバス 標準外 標準外 オムニバス
	小計(13科目)	_		0	14	0		_		3	1	0	1	0	41	
I 門高 科度 目専	数理情報システム特論 高度情報インターンシップ	1前 1通			2 2		0		0	2 13	19		7			オムニバス
高	小計(2科目)	-		0	4	0		_	ı	13	19	0	7	0	0	
度専門	先端情報科学演習 情報数学特論 画像処理特論 情報数理特論 情報科学特論	1前 1前 1前 1後 1後			2 2 2 2 2		0 0 0	0		1	1		1			
	小計(5科目)	1 07%		0	10	0		_		3	1	0	1	0	0	
	数理情報システム特別演習 数理情報システム特別研究 小計 (2科目)	1~2通 1~2通 —	_	8 8 16	0	0		O -	0	13 13 13	19 19	0	7 7 7	0	0	
	合計 (23科目)	<u> </u>		18	28	0	İ	_		13	19	0	7	0	49	
学	位又は称号 修士(情報					L U は学科	L Aの分	野		13	19		 関係、			
	卒業·修了要件	及び	履修						l .				業期間			
						田小一	100		1 学年	三の学	期区分		1、ノソルド	1 11		2期
	基盤教育科目2単位、大学院基礎 必修科目を含む)を修得し、かつ									月の授						15週
するこ		、炒土姍。	へい田上	L/X U	对 义 作气 自	r NID大 (C	- ⊔ 11±1°	_		授業の						90分

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行 おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等 に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しく は届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうと する場合は,この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若し くは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除 く)」と読み替えること。

- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課
 - 程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。 (1)各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、 前期課程に係る科目数,「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。 (2)「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記
- (2)「予止人はから」の欄には、当政寺门城八千を午来した社に及子する予止に加え、当政寺门城八千の前朔球往を修りした社に及子する予止を開ま すること。 (3)「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」
- を記入すること。

	教	Ì	課	科	Ē	鲁	ŧ	O	D	ħ	既	<u>[</u>	要	. , , , , ,	2714774	
(【既	設専攻】理工学研究科 情報・エ	レクトロニ	-クス専 -		W / I. W		1	5 206 777	tale.	П	++-		lete a T	¬		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准 教授	幹教員 講師	野の関 動 教	助手	基幹教員以外の教員	備考
科基 目盤 教育	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前		2			0			1	2				9	
基礎専門科目	小計 (1科目) 異分野連携論 異分野実践研修 キャリア・マネジメント 研究者としての基礎スキル データサイエンス Academic Skills: Scientific Presentations + Writing 社会文化創造論 I 知財と倫理 技術経営学概論 食の未来を考える Global Materials System Innovation 先端医科学特論 AIデザイン演習	一 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1	0	0 000 0 000000	0	0	1	1	0	0		9 1 1 7 5 1 3 1 3 8 1 15 0	オムニハ [*] ス オムニハ [*] ス オムニハ [*] ス 標準外 オムニハ [*] ス オムニハ [*] ス
11 1	小計(13科目) 数学特論 I 数学特論 II 数理工学特論 I 数理工学特論 I 応用物理学特論 I 応用物理学特論 I 応用物理学特論 II 応用化学特論 I	1·2後 1·2前 1·2後 1·2前 1·2後 1·2後 1·2後	_	0	14 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 0 0 0 0 0	_		1	0	0	1		1 1 1 1 1 1 1	
専攻科	小計 (7科目) 数学特論Ⅲ 応用物理学特論Ⅱ グローバル情報・エレクトロニクス特論Ⅰ グローバル情報・エレクトロニクス特論Ⅱ グローバル情報・エレクトロニクス特論Ⅲ 小計 (5科目)	1・2前 1・2前 1・2前 1前 1後 2前	_	2	14 2 2 2 2 2 2 8	0	0 0 0 0			13 13 13 13	15 15 15	0	6 6 6		1 1 2	隔年 隔年 隔年
高度専門科目Ⅱ	応用音声言語処理 分子動力学法概論 複雑系概論 応用センサエ学 有限・境界写要素法 画視覚情異理処論 計算計算型型機論 計算計算型型機論 計算計算型型機械 が報知を指する。 が表記を が表記を が表記を が表記を が表記を が表記を が表記を がままれた。 高波と で表記を が表記を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	1前 22 22 11 11 12 11 12 11 12 11 12 11 12 11 12 11 12 11 12 12			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1		1			隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔隔

		磁気デバイス工学 光エレクトロニク センサ工学 知能集積回路 高周関集集積9 高電界現象論 パルスパワー工学	ステム	1後 1後 2後 1前 1後 1前 2前			2 2 2 2 2 2 2		0000000			1 1 1	1		1			隔年 隔年 隔年 隔年 隔年 隔年		
		バイオインフォマ ディジタル通信工 情報・エレクトロ:	ティクス 学	1後 2後 1・2前			2 2 2		0 0 0			1 1	1					隔年		
		小計(31科目)		_	_	0	62	0		_		13	15	0	6		0			
高度専		Project-Based Le Presentation for	arning Symposia/Seminars	1·2通 1·2通			2			0							2 2			
明明	科目	小計(2科目)		_	_	0	3	0	•	_		0	0	0	0 4					
科目Ⅲ	専攻科	情報・エレクトロ 学外実習(インタ 理工学教育研修 研究開発実践演習		1~2通 1~2通 1・2通 1・2通 1・2通		4 6	2 2 4			0 0 0	0 0	13 13 13 13 13	15 15 15 15 15		6 6 6 6					
		小計(5科目)			_	10	8	0		_		13	15	0	6		0			
		合計 (64科	 目)	_	_	14	109	0		_		13	15	15 0 6 67						
	学	位又は称号	修士(工学)	·	学	位又	は学科	中の分!	野			工学関係							
		卒 業・	修了要件	及び	履修	方	法							授美	授業期間等					
			単位、大学院基礎専 ・を修得し、かつ、									の学		_	2期 15週					
申位する			」 とぼ付し、がり、	修工論〉	くい番鱼	火い	权於部	NIP (C	口俗		•	受業の	,,,,,,,	•				90分		

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合,大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は,各授業科目について,「必修」,「選択」,「自由」のうち,該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は,大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は,「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

			課	利	呈	<u></u>	—— 等	(の	7	既	(用》 ·	要	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	未死	格A4縦型)
(【閔	長設專攻】理工学研究科 理学専攻)					г								1	
					単位数	女	挖	受業形!	態		基	幹教員	等の酢	2置		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
基盤教	地域創生・次世代形成・多文化共生論	1前		2			0								1	
育科	小計(1科目)	_		2	0	0		_	ı	0	0	0	0	0	1	
大学院共通教育科目基礎専門科目	異分野連携論 異分野実践研修 キャリア・マネジメント 研究者としての基礎スキル データサイエンス Academic Skills: Scientific Presentations + Writing 社会文化創造論 知財と倫理 技術経営学概論 食の未来を考える Global Materials System Innovation 先端医科学特論 AIデザイン演習	1後 後 1前 後 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2		0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0	3 1	1				1 1 1 5 4 1 3 1 3 8 1 155 1	オムニハ・ス オムニハ・ス オムニハ・ス 標準外 オムニハ・ス オムニハ・ス
	小計 (13科目)	_	_	0	14	0				3	1	0	0	0	45	
理工学研究科(理学系)共通科目	理学特別演習 I(数学系)理学特別演習 I(理学系)理学特別演習 II(数学系)理学特別演習 II(理学系)理学特別演習 II(数学系)理学特別演習 III(理学系)理学特別演習 III(理学系)理学特別演習 IV(理学系)理学特別研究 I 理学特別研究 II 特別課題研究	1前 1前 1後 1後 2前 2前 2後 1前・後 2前・後 2前・後		4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0		0 0 0 0 0 0 0	000	3 3 3 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1	0	1 1 1 1 1 1 1	0	15 59 15 59 15 59 15 59 74 74 74	
分野横断科目	大学院生のキャリアデザイン 自然科学特論 海外特別研修 インタップMC 機器計科学特論 物理実験学概論 分子端と学科学特論 地球科学概論 理学特別講義A 理学特別講義B 小計(13科目) 数学要論 C 代数学等論 解析学特論 数学特別講義A 数学特別講義A 数学特別講義A 数学特別講義A 数学特別講義A	1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0		_	0	0	0	0	0	0	2 1 1 1 1 1 3 1 15 2 10 1 1 40 2 2 2 2 2 2 2 1	標準準外オルニハ・スオルニル・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニル・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニハ・スオルニル・スオルー・スオルー・スオルー・スオルニル・スオルニル・スオルニル・スオルニル・スオルニル・スオルニルー・スオルー・スオルー・スオルー・スオルー・スオルー・スオルー・スオルー・スオ

	4 毕业、万野界門	17世日り	中14、	口可	$_{ m O}$ U $^{\sharp}$	ド117. を	11亥 任		1 子男	」Vノガズ・	未州「	# J				15週
盤教育科目2単位、基础 8単位、分野横断科目									1 学年 1 学期							2 期
卒 業 ・ /	多了要件》	及び	履修	方	法								業期間	等		
学位又は称号	修士(理学	全)		学	位又	は学科	単の分	野					理学	関係		
合計(103科目)	_	_	10	168	0		_		3	1	0	1	0	143	
小計(65科目)			_	0	114	0				2	0	0	1	0	98	
データサイエンス特別	1 '	前・後			1		0					L	L	L	1	適宜開講
データサイエンス特別		前・後			1		0								1	適且用語
データサイエンス特別 データサイエンス特別		前・後 前・後			2 2		0								1 1	適宜開講適宜開講
最適化特論	川港 × A	1前			2		0								2	'쇼는====
情報数学特論		1前			2		0			2					1	
応用数理特論		1後			2		0								2	
情報科学特論		1後			2		0								1	
情報数理要論		16			2		0			1			1		1	
地球科学特別講義 D 情報数理特論	11	前・後 1後			1 2		0			2			1		1	適宜開講
地球科学特別講義C		前・後	I		1		0								1	適宜開講
地球科学特別講義B		前・後			1		0								1	適宜開講
地球科学特別講義A		前・後			1		0								1	適宜開請
物質循環科学特論Ⅱ 地球科学巡検	11	1前 前・後	1		2 2		0		0						1 10	共同・標準
物質循環科学特論 I		1後			2		0								1	
固体地球科学特論Ⅱ		1後			2		0								1	
固体地球科学特論 I		1前			2		0								1	
地球物質科学特論Ⅱ		1後			2		0								1	
地球史科学特論 Ⅱ 地球物質科学特論 Ⅰ		1後 1前			2 2		0								2 2	
地球史科学特論I		1前			2		0								2	
生物学特別講義D	11	前・後			2		0								1	適宜開請
生物学特別講義C		前・後			2		0								1	適宜開講
生物学特別講義B		前・後			2		0								1	適宜開講
生物学特別講義A		前・後			2		0								1	適宜開講
宋養生理子特論 生態学特論	11	前・後			2		0								2	
進化学特論 栄養生理学特論		1後 1前			2 2		0								3	オムニハ゛ス
動物生埋生化学特論	11	前・後			2		0								1	1, 0
発生生物学特論		1前			2		0								1	
植物生理学特論		1後			2		0								1	
化学特別講義D		前・後			1		0								1	適宜開請
化学特別講義C		前・後			1		0								1	適宜開請
化学特別講義A 化学特別講義B		前・後前・後			1		0								1 1	適宜開請 適宜開請
先端化学トピックス]		1後			2		0								7	オムニハ゛ス
先端化学トピックス		1後			2		0								8	オムニハ゛ス
生物化学特論		1後			2		0								3	
物理化学特論		1前			2		0								3	
有機化学特論		1前			2		0								3	
無機化学特論 分析化学特論		1後 1前			2 2		0								3 2	
物理学特別講義D	11	前・後			1		0								1	適宜開請
物理学特別講義C		前・後			1		0								1	適宜開講
物理学特別講義B	11	前・後			1		0								1	適宜開請
物理学特別講義A	11	前・後			1		0								1	適宜開請
固体物理学Ⅱ		1後			2		0								2	
素粒子物理学		1後			2		0								3 1	
固体物理学 I 宇宙物理学		1前 1前			2 2		0								1 3	
原子核物理学		1前			2		0								1	
場の量子論		1前			2		0								1	
数学特別講義D	11	前・後			1		0						I		1	適宜開講

- 1 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合,大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は,各授業科目について,「必修」,「選択」,「自由」のうち,該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3)「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

					果	程	!	等	F	0)	村	既		要			
(【既	設学部等	等】工学部情報・エレクト⊏ ┏	二クス学 	科) 		単位数	r	±s	受業形態	能	I	Ħ.i	幹教員	竿の両	2 選		
	科区		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
	導	入科目	スタートアップセミナー	1		2			0								2	
	基	幹科目	みずから学ぶ 人間・共生を考える 山形から考える	1 1 1		2 2 2			0								32 26	
			現代を生きる 哲学	1		2	2		0								1	
			ロザ 心理学 歴史学 文学	1 1 1			2 2 2		0000								1 7 2	
		文化と	芸術 言語学 文化論	1 1 1			2 2 2		0 0 0								1 3 8	
	教養	社会	法学 経済学 社会学 政治学	1 1 1 1			2 2 2 2		0000								5 5 3 2	
基	科目		地理学 社会と倫理 知的財産 日本国憲法	1 2 2 1			2 2 2 2		0 0 0 0								1 2 1 3	
盤		自然と	数理科学 物理学 化学	1 1			2 2		0								6 7	
共		件子	生物科学 地球科学	1 1 1			2 2 2		0 0 0								7 3 1	
		応用と 学際	学際	1 1			2 2		0 0								6 12	
通		ション・ス キル1	英語 3	1 2 2		2	2 2			0 0 0							5 3 3	
教		ション・ス キル2	ドイツ語 フランス語 中国語	1 1 1			2 2 2			0 0							4 3 3	
		コミュニケー ション・ス キル3	日本語	1			2			0							3	
育	共	情報 科学	情報処理 データサイエンス (基礎) データサイエンス (応用)	1 1 1		2	2			0 0 0							1 1 4	
	通科目	健康・ スポーツ	健康・スポーツ科学 スポーツ実技 スポーツセミナー	1 1 1			2 1 2		0	0	0						2 6 3	
			数理科学 物理学 化学	1 1 1			2 2 2		0 0 0								9 10 6	
		サイエン ス • スキル	生物科学 地球科学 医学 工学	1 1 1 1			2 2 2 2		0 0 0 0								7 9 1 1	
			農学 キャリアデザイン キャリア教育	1 1 2			2 2 2		0								10 3 1	
			小計 (50 科目)	_	_	14	85	0		_	- I	0	0	0	0		247	
			微積分解法 化学C 情報エレクトロニクス入門 数学C	1前 1前 1前 1後	0	2	2 2 2		0 0 0			1	1				2 1 2	

		Let any NY attends		1 1	1		. '				ı	1	1	i			
		物理学基礎	1後			2		0								1	
		専門数学Ⅱ	1後			2		0				1					
		数学 I	2前			2		0								3	
		数学Ⅱ	2前			2		0								2	
		確率統計学	2前			2		0								1	
		物理学Ⅰ	2前			2		0								2	
		キャリア形成論	2前			2		0								1	
		数学Ⅲ	2後			2		0			1						
		数学IV	2後			2		0								2	
		物理学Ⅱ	2後			2		0								2	
		キャリアプランニング	2後			2		0								1	
		化学・バイオ工学概論	3前			2		0								1	
		機械システム概論	3前			2		0								1	
		高分子科学	3前			2		0								1	
		計算機基礎	2前	0		2		0				1					注1
		電磁気学 I	2前	0		2		0				1					注1
		電気回路 I	2前	0		2		0				2					注1
		情報理論	2後	0		2		0			1						注1
専		論理回路	2後	0		2		0				1					注1
	→.	確率概論	2後	0		2		0			1						注1
門	融	ソフトウェア工学	2後			2		0			1						
	合	線形システム基礎	2後	0		2		0			2						注1
教		ベンチャービジネス論	2後			2		0								1	
弘	教	情報化社会と職業	3前			2		0			1						
	育	計算機アーキテクチャとOS	3前			2		0				1					
育	Ħ	データサイエンスと機械学習	3前			2		O			1						
	領	暗号と情報セキュリティ	3前			2		0				1					
科	域	電子回路I	3前	0		2		0			1						注1
	攻	英語セミナー	3前	0		2		0				1					
В		信号処理	3前			2		0			1						
目		データ通信	3前			2		0			1						
		センシング工学	3前			2		0			1						
		知的財産権概論	3前			2		0			1					1	
		科学と技術	3前			2		0								1	
		マイクロプ゜ロセッサ と インタフェース	3後			2		0				1				1	
		制御システム工学	3後			2		0			1	1					
		ディジタル画像処理	3後			2		0			1						
		PBL演習	3後	0	2	2			0		12	14		4			
		電子回路II	3後		۷	2		0			1	14		4			
		通信システム	3後			2		0			1						
		情報エレクトロニクス特別講義	4前			2		0			1					7	
		学外実習(インターンシップ) I				1				0						1	
		学外実習(インターンシップ) II 学外実習(インターンシップ) II	3前・後			1				_						1	
		特別講義	3·4前後			1 2				0						1	
		サービスデザインによる社会課題解決						0								1	
		課題解決力養成講座	2前			2 2		0								1	
			2前			۷		0								1	
		アントレプレナーシップ養成 イノベーション特別講義	2前			2		0								1	
			4 245 500		10						10	1.4					
		卒業研究 工業技術概論	4前・後	0	10	2				0	12	14		4		,	> > -0
		7,740,777,774,77	3前					0								1	注2
		職業指導 小計 (54 科目)	3前 —	_	14	100	0	U			12	14	0	4	0	37	注2
\vdash		専門数学 I (情報・知能)	1後		14	2	U	0			14	14	U	4	U	31	
		離散数学	1仮 2前	0	2	۷		0				1					
	情	mm取数子 プログラミング演習 I (情報・知能)	2前	0				J	0		1	1					
	ΊĦ	情報科学演習		0	4				0		1			1			
	報		2後		2	2			O			,		1			
		オートマトンと言語理論	2後		4	Z		0			1	1					
	•	プログラミング演習Ⅱ(情報・知能)		0	4				0		1	,					
	知	データ構造とアルゴリズム	3前	0	2			0				1		-			
		情報科学実習Ⅰ	3前	0	2					0		1		1			
	能	プログラミング 演習Ⅲ	3前	0	4			_	0			2					
	コ	数值解析	3前			2		0			1						
		認知科学入門	3前		_	2		0			1	_					
	1	情報科学実習Ⅱ	3後	0	2	_		_		0	_	2					
		情報計画工学	3後			2		0			1						
		データベース論	3後			2	1				1			l			
	ス	****		_	~	1 1	, ,	_			-	~					
	ス	輪講(情報·知能) 小計(15 科目)	4前 —	0	2 24	12	0	0			5 5	6	0	1	0	0	

1 1		声 ⊞粉⇔ т	(電気・電子通信)	1後		1	2	ı	0	1 1		I	1		1	1	1	1
		電磁気学I		2前	0	2						,	1 1					
		電気回路 I		2前	0	2				0		1						
		電ス凹路 I 電子物性 I		,	0	2			0	0		,	1					
				2前	_	_			0			1						
車	-		演習 I (電気・電子通信)	2前	0	4				0		1						
4	電		演習Ⅱ(電気・電子通信)	2後	0	4				0			1					
	気	電磁気学Ⅱ		2後	0	2	_		0				1					
門		電磁気学Ⅱ		2後			2		_	0					2			
	•	電気回路Ⅱ		2後			2		0	_			1					
教	電	電気回路Ⅱ		2後			2			0			1					
	电	電子物性Ⅱ		2後			2		0				1					
育	子		≀ニクス実験 I	2後	0	2					0	7	8		3			
目	13	半導体工学	É	3前			2		0				1					
	通	電気機器学	É	3前			2		0				1					
科	信	エレクトロ	ユニクス実験ⅡA	3前	0	1					0	7	8		3			
		エレクトロ	ュニクス実験ⅡB	3前	0	1					0	7	8		3			
B	コ	エレクトロ	ıニクス実験ⅢA	3前	0	1					0	7	8		3			
н	1	パワーエレ	クトロニクス	3後			2		0				1					
	1	エレクトロ	ュニクス実験ⅢB	3後	0	1					0	7	8		3			
	ス	電力工学		3後			2		0				1					
		電力伝送エ	学	4前			2		0				1					
		基礎製図		4前			2			0			2					
		電気法規及	び施設管理	4前			1		0									
		輪講(雷気	・電子通信)	4前	0	2			0			7	8		3			
			(24 科目)	_		24	23	0		_		7	8	0	3	0	0	
	合	計 (143	科目)	_	_	76	220	0				12	14	0	4	0	284	
												12	11	Ů	<u> </u>		201	
	学位又は	•	学士(1	• •			位又	は学科	∤の分	野					工学			
	卒	業 •	修了要件	及び	履修	方	法							授	業期間	等		
	業年限																	
			数 130単位															
			工+専門教育科目9	4 単位)							1 学年	の学	期区分	7				2期
· 4	盤共通教 導入科目																	
	基幹科目																	
			1 2 6 単位															
	門教育科																	
	修科目 3	—									1 学期	の授	業 期間	目				15週
		目 2単位								•	1 1 /9	10010	W / / / /	-1				102
	髮択科目 4 ≤業研究 1																	
			こおいて、コース共	通の必修	科目にす	Πラ	各コー	ースの	אַנ									
		扱 月 映 敬 に のとおりと		A型 Y / 光 / 10分	11 11 10%	/H / L \		, · · · ,	, XL,									
• 情	青報・知能	コース:計	- 算機基礎、情報倫							- P-L-	. 17 C 1	- علاد -	Land Office	n+ 00				0.04
	信 · 雷子	. — . —								- 1 時	-KB 100 t	P4 77 0) 井四 沙田	H구민티				90分
		通信コース	《:電磁気学I、電	気回路 I	、線形:	ンステ	ム基値	礎、電	[子	T h4	限の抗	又未り	が一	нД.[H]				3 0);
回路	ξI		く:電磁気学Ⅰ、電のでは、できます。					遊、電	子	1 四寸	- PJK V / 1	又禾。	が手	144.1111				30%

- 1 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行 おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等 に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しく は届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうと する場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は,授業科目が主要授業科目に該当する場合,欄に「○」を記入すること。なお,高等専門学校の学科を設置する場合は,「主 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6
- 「授業形態」の欄は,各授業科目について,該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし,専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若し くは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は,大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は,「専任教員以外の教員(助手を除 く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課 程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。 (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、
 - 前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記 すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」 を記入すること。

		教育	課		程		等		の		根	ŧ	Ī	要			
(【即	[設学部	等】理学部理学科) 	ı	1		単位数	'n	ta	受業形	能		甘	\$ *	等の酉	128		
	日公分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
共	1入科目	スタートアップセミナー みずから学ぶ ライティングスキル	1前 1前 1前・後		2 2	2		0	0				1	1		2 1 2	
科	幹科目	人間・共生を考える 山形から考える 現代を生きる	1前・後 1前・後 1前・後		2 2 2			0 0			5 2	1		2		25 23 1	
教養科目	文化と 社会	哲学 学 学 学 芸術 言語学 文化論 法 経済学 政治学 社会学 日本国憲法	1前 1前 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0000000000000								1 1 7 2 1 3 8 5 5 2 3	
	高科と おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おお	数理科学 数理科学(データサイエンスI) 数理科学(データサイエンスII) 数理科学(数学II) 数理科学(数学II) 数理科学(数学III) 物理学(数学III) 物理学(物理学I) 物理学(物理学I) 物理学(物理学II) 物理学(共通物理学実験) 化学(化学I) 化学(化学II) 化学(化学II) 化学(共通化学実験) 生物科学(生物学II) 生物科学(生物学II) 生物科学(共通生物学実験) 地球科学(地球科学I) 地球科学(地球科学II) 地球科学(共通地球科学実験) 応用	1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	000000000000000000000000000000000000000	2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 2 1	2 2 2				00000000000000000	2 1 2 1 1 3 2 1 1 1 2 1	1 2 2 2 1 4 1 1 1 1 1 1 1 3 3 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1 1 3 1	1	1 1 2		1 1 6	
共通	学際 コミュ ニケー	学際	1後			2		0		0	1					11	
科目	シンキリニント1コニシンキル2	英語 1 ドイツ語 フランス語 中国語	1前·後 1前·後 1前·後 1前·後		2	1 1 1		0 0 0								5 4 3	
	情報科学	情報処理 スポーツ実技 データサイエンス (基礎)	1前 1前 1後		2	2		0		0						1 1 1	

ı	1	健康・	健康・スポーツ科学	1前・後	1		2		0			1					3	1
		スポー	スポーツ実技	1前・後			1				0						7	
		ツ	スポーツセミナー	1前			2		0								3	
		キャリ	7.7. 7 2 2 7	1 Hil													J	
			キャリアデザイン	1前・後			2		0			1					2	
		イン																
-	₩.	700	小計 (54科目)		_	44	54	0		_		18	2	2	2	0	97	
専門	基礎	理学	理系のキャリアデザインA	1前	0	1			0			1						
教	専	共	理系のキャリアデザインB	2前	0	1			0	_		1						
育科	門	通	インターンシップ	3前	_		2		_	0							1	
科目	教育	科目	サイエンスセミナー	1後	0	2			0			1						
П	科	П	放射線取扱入門	3後			1		0			1						
	目		地域デジタルデザイン思考演習	2前			2		0			1						
			活用プログラミング	3後			2		0	_			1					
			サイエンスコミュニケーターA	3前			2			0		1						
			サイエンスコミュニケーターB	3後			2			0		1						
			サイエンスコミュニケーターC	3通			2			0		1						
			実践科学英語I	2前			2		0			1						
			実践科学英語Ⅱ	2後			2		0				1					
			コミュニケーション英語I	2~4通			2		0			1						
			コミュニケーション英語Ⅱ	2~4通			2		0			1						
			海外特別研修	1~4通			1			0		1						
	甘	理	課題研究	4後		0	2					1						
	基礎	学	微分積分 I 線形代数	2前	0	2			0			1						
	専	基		2前	0	2			0			1	1					
	門	礎科	線形代数演習	2前	0	2			0				1					
	教育	目	集合と位相I	2前 2前	0	2 2			0			,	1					
	科		数理統計学 プログラミング	2前	0	2			0			1						
	目		力学	2前	0	2			0			1						
			電磁気学 I	2前	0	2			0			1						
			量子力学 I	2前	0	2			0			1						
			熱力学	2前	0	2			0			1	1					
			無機化学 I	2前	0	2			0			1	1					
			有機化学 I	2前	0	2			0			1						
			分析化学 I	2前	0	2			0			1						
			生物化学 I	2前	0	2			0			1						
			遺伝学Ⅰ	2前	0	2			0			1						
			細胞生物学I	2前	0	2			0			1						
			進化学I	2前	0	2			0			1						
			生態学 I	2前	0	2			0			1						
			地質・古生物学 I	2前	0	2			0			1						
			岩石・鉱物学 I	2前	0	2			0			1			1			
			火山・地球物理学Ⅰ	2前	0	2			0				2		1			
			自然災害科学	2前	0	2			0			2	1	1	1			
	基	理	コンピュータアーキテクチャ	2前			2		0				_				1	
	礎	学	データ構造とアルゴリズム	2後			2		0								1	
	専門	専門	離散数学	2後			2		0			1						
	教	科	応用数学	2後			2		0			1						
	育	目	応用プログラミングA	2後			2		0								1	
	科目	デ	計算科学	2後			2		0			1						
	I	ĺ	計算理論	2後			2		0			1						
		タ	機械学習入門	3前			2		0			1						
		サイ	応用プログラミングB	3前			2		0				1					
		エ	応用解析学	3前			2		0			1						
		ン	計算数学A	3前			2		0				1					
		スコ	組合せ論	3前			2		0				1					
		1	多変量解析	3前			2		0								1	
		ス	計算数学B	3後			2		0			1						
		カ リ	数理計画法	3後			2		0			1						
		サキ	データ解析	3後			2		0			1						
		ユ	基礎情報理論	3後			2		0			1						
		ラ	離散幾何	3後			2		0				1					
		5	データサイエンス文献講読 A	4前			2		0			2			1			
			データサイエンス文献講読B	4後			2		0			2			1			
			データサイエンス特講 A	3 · 4			1		0			2			1			適宜開講

	データサイエンス特講B	3 • 4		I	1	0		2			1	1 1	適官開講
	データサイエンス特講C	3 • 4			1	0		2			1		適宜開講
	データサイエンス特講D	3 • 4			1	0		2			1		適宜開講
基理	数理統計入門	2後			2	0			1		1		
一 学									1				
専専	微分積分Ⅱ	2後			2	0		_	1				
門門	微分積分演習	2後			2	0		1					
教 科 目	集合と位相Ⅱ	2後			2	0			1				
科(集合と位相演習	2後			2	0		1					
目 数	代数入門	2後			2	0			1				
学	代数学A	3前			2	0			1				
]]	代数学C	3前			2	0			1				
ス	幾何学A	3前			2	0			1				
カ	幾何学C	3前			2	0			1				
IJ	解析学	3前			2	0			1				
キュ	微分方程式論	3前			2	0		1					
ラ	確率論	3後			2	0		2					
4	代数学B	3後			2	0			1				
$\overline{}$	代数学D	3後			2	Ō		1					
	幾何学B	3後			2	O		_	1				
	幾何学D	3後			2	0			1	1			
	数学文献講読A	4前			2	0		5	8	1			
	数字文献講読 B	4後			2	0		5 5	8	1			
	数字又厭講就 B 数学特講 A	4恢 3·4			2	0		5 5	8				適官開講
										1			
	数学特講B	3 • 4			2	0		5	8	1			適宜開講
	数学特講C	3 • 4			1	0		5	8	1			適宜開講
# 700	数学特講D	3 • 4			1	0		5	8	1			適宜開講
基理学	量子力学演習 I	2前			2	0				1			
専 専	解析力学	2後			2	0		1					
門門	力学演習	2後			2	0					1		
教科	電磁気学Ⅱ	2後			2	0		1					
育 目	電磁気学演習	2後			2	0		1					
目物	量子力学Ⅱ	2後			2	0		1					
		210			4			1					
理	物理数学	2後			2	0		1					
理学	物理数学 物理学実験 I						0						
理		2後			2		0	1					
理学コー	物理学実験 I	2後 2後			2 2	0	0	1		1			
理学	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習	2後 2後 3前 3前			2 2 2 2	0 0 0	0	1 1 1		1			
理学コースカリ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II	2後 2後 3前 3前 3前			2 2 2 2 2	0 000	0	1 1 1		1			
理学コースカリキ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学	2後 2後 3前 3前 3前 3前			2 2 2 2 2 2	0 0 0		1 1 1 1		1			
理学コー スカリキュ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II	2後 2後 3前 3前 3前 3前			2 2 2 2 2 2 2	0 0000	0	1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論	2 後 後 3 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前			2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0		1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II	2後 3 3 3 3 3 3 前前前前 3 3 6 3 8			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00		1 1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II 量子力学III	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000		1 1 1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 量子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II 量子力学 III 現代天文学入門	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000		1 1 1 1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II 量子力学 III 現代天文学入門 物性物理学	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00000		1 1 1 1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II 量子力学 III 現代天文学入門 物性物理学 素粒子原子核入門	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1		1		1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 i 型・統計力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁気学・相対論 熱・統計力学 II 量子力学 III 現代天文学入門 物性物理学 素粒子原子核入門 物理学セミナー	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2	1	2	1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 型子力学演習 II 放射線物理学 物理学実験 II 電磁 統計力学 II 量子力学 III 現代天文学入門 物性物理学 素粒子原子核入門 物理学文献講読 A	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2	1	2	1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 型子 海習 II 放射線學実験 II 電磁 統計力学 II 量子 ア文学 シープ アンス サービー では サービー では サービー 現代 物理学 素 粒子 アマナー 物理学 マンス ドライン 物理学 文献講読 A 物理学文献講読 A 物理学文献講読 B	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2	1	2	1	
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 量子 対学 演習 量子 対線 学実験 II 電磁 統計 計算 II 量子 大 ア 文 学 入 門 物性 予 ア 文 学 入 門 物理学 マ 大 大 で 取 理 学 文 献 講 流 A 物理学 マ 文 献 講 読 A 物理学 学	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2	1	2 2 2	1	適宜開講
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 型子 海習 II 放射線学実験 II 電磁 禁事 日 II 量子 日 対	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 3 4			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2	1	2 2 2 2	1	適宜開講
理学コー スカリキュラ	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 II 放射線学実 物理学 物理学 物理学	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開講 適宜開講
理学コー スカリキュ ラム)	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 II 放射線学実資 II 電磁・統計力学 II 電磁・統計	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 3 4			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00000000000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	1	2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
理学コースカリキュラム)理	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 II 放射線学実資 II 電磁・統計力学 II 電磁・統計 計II 電子 表計	2 後後前前前前前前後後後後後前後・・・・前 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
理学コースカリキュラム)	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 II 放射線学実資 II 電磁・統計力学 II 電磁・統計	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
理学コースカリキュラム) 理学専門	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 国習 II 放射線学実資 II 電磁・統計力学 II 電磁・統計 計II 電子 表計	2 後後前前前前前前後後後後後前後・・・・前 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000000000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
理学コースカリキュラム) 理学専門科	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 割・統計力学 国別	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 00000000000000000000000000000000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 基礎専門教育理学コースカリキュラム)	物理学実験 I 熱・統計力学 I 熱・統計力学 I 割・統計力学 国別	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 00	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選挙コースカリキュラム) 基礎専門教育科理学コースカリキュラム)	物理学実験 I 熱・計力学 I 熱・統計力学 I 割・統計力学 I 割・統計力学 i 習量 が 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 理学専門科目(化	物理学実験 I 熱・	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 0000	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選挙コースカリキュラム) 基礎専門教育科理学コースカリキュラム)	物理学実験 I 熱熱・子科学 I 習	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 0000	0 0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 基礎専門教育科目 (化学コー理学コースカリキュラム)	物理学実験 I 物理学実験 I 熱・子射理学	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 0000	0 00	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 基礎専門教育科目 (化学コース	物理学実験 I 物理学表就分学 I 教主,不知理学 I 對性 對性 對性 對性 對性 對性 對性 對性	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 3 3 3 3	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 0000	0 000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 選挙専門教育科目 (化学コースカ	物理学表示的 I 图 I 图 I 图 I 图 I 图 I 图 I 图 I 图 I 图 I	22333333333334433332222223336後後前前前前前前後後後後後後前後・・・・前後後後後後後前前前	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 000000000000 00000	0 00	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開請 適宜開請
選学コースカリキュラム) 基礎専門教育科目 (化学コース	物無 物理学統統力 物理· 就於力線学気統力 力學學」 工智 對理磁 動力 對理磁 動力 對理磁 動力 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。	223333333333344333322222233333444444	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000000000 00000 0	0 000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1		2 2 2 2 2	1	適宜開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開開
選学コースカリキュラム) 基礎専門教育科目 (化学コースカリキュ	物熟熱量放物電熱量現物無機 物熱・子射理解Ⅱ 目 物性 動性 動性 動性 動性 動性 動性 動性 動性 動性 動	22333333333333333333333333333333333333	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000000000 00000 00	0 000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 1	1	2 2 2 2 2	1	適宜開講 適宜開講
- 選学コースカリキュラム) 基礎専門教育科目 選学専門科目 (化学コースカリキ	物無 物理学統統力 物理· 就於力線学気統力 力學學」 工智 對理磁 動力 對理磁 動力 對理磁 動力 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。 對理。	223333333333344333322222233333444444	0	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0000 0000000000000 00000 0	0 000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 1		2 2 2 2 2	1	適宜開講 適宜開講

	基礎専門教育科目(地球科学コースカリキュラム)	基礎専門教育科目(生物学コースカリキュラム)	
地球科学文献講読A 地球科学文献講読B	地球科·古生物学Ⅱ 地球 · 数本的学Ⅲ 大山 · 数本的学Ⅲ 大山 · 数本的学Ⅲ 大山 · 数本的学Ⅲ 大山 · 数本的学 大献科学野外 大献科学野外 大献科学野外 大山 · 地球科学Ⅲ 大山 · 地球种理学Ⅲ 地球 · 一 · 也球称学Ⅲ 地球科学Ⅲ 地球科学Ⅲ 地球科学Ⅲ 地球年一 大山 · 数本的学 一	化学特講BD 臨海學里 一定学特書的 一定等特講的 一定, 一定, 一定, 一定, 一定, 一定, 一定, 一定, 一定, 一定,	生物化学Ⅲ 物理化学Ⅲ 無機化学Ⅳ 有機化学Ⅳ 分析化学Ⅳ 高分子化学 化学文献講読A 化学文献講読B 化学特講A
3後 4前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3	3 · · 4 3 · · 4 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 前前前前前前後後後後後後前前前前前前前前前後後後後後 3 · · · 4 3 · · · 4 3 · · · 4	3前 3後 3後 3後 3後 3後 4前 4後 3・4
	0	0 0	
	2	2 2 2	
2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 1
0			000000000000000000000000000000000000000
	0	0	
4	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1	10 10 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 10 10 10
3	1 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1 1 1 1 1 6 6 6 6
2 2	1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1
1 1		3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1 1 1 1
		1 1	
		適宜日開開講講	適宜開講

学位又は称号	学士 (理学)	学位又は学科の分	野		理学関係
卒 業 ・ 修	了要件及び履修	方 法		授業	美期間等
	て124単位以上を修得すること。		1	1 学年の学期区分	2期
1. 基盤共通教育科目 2. 専門教育科目・基盤専門	48単位 教育科目(理学部共通科目) 6単位		1	1 学期の授業期間	15週
3. 専門教育科目·基盤専門	教育科目(理学基礎科目) 12単位	Ĺ	1時	限の授業の標準時間	90分
4. 専門教育科目・基盤専門 5. 卒業研究 6. 自由科目	教育科目(理学専門科目) 40単位 10単位 8単位	Ĺ			

- 1 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行 おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等 に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しく は届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうと する場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は,授業科目が主要授業科目に該当する場合,欄に「○」を記入すること。なお,高等専門学校の学科を設置する場合は,「主 要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6
- 「授業形態」の欄は,各授業科目について,該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし,専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若し くは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除 く)」と読み替えること
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課 程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、 前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記 すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」 を記入すること。

,	For	=0.224 +0.6			課	程	<u>!</u>	等	F	0	D	;	概	(/11/1	要			111111/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1
(【既	設字部等	等】工学部 システム創成	工字科)			単位数	r	将	受業形	能		其		等の動	7置		
	科区		授業科目の名称	配当年次	. 主要授	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)	備考
	導	入科目	スタートアップセミナー みずから学ぶ	1 1		2 2			0								3 1	
基	基	幹科目	人間・共生を考える 山形から考える 現代を生きる	1 1 1		2 2 2			0 0 0								1 2 1	
盤	教養	文化と 社会	文学 文化論 日本国憲法	1 1 1			2 2 2		0 0 0								1 2 1	
	科	自然と 科学	化学	1			2		0								2	
共		応用と 学際	応用	1	1		2		0				1				1	
通		コミュニケー ション・ス キル1	英語 1 英語 2	1 2		2				0							1 4	
进		コミュニケー ション • ス キル2	ドイツ語中国語	1 1			2			0							1	
教	通科	情報科学	データサイエンス (基礎)	1		2	2			0							1	
	I	健康・ スポーツ	健康・スポーツ科学 スポーツ実技	1 1			2 1		0		0						1 2	
育		サイエン ス・スキル	スポーツセミナー 数理科学	1			2		0	0							2	
			物理字 小計 (20 科目)	1 —	<u> </u>	18	2 23	0	0	_		3	4	0	0		2 31	
	P	享月丟裝	システム創成入門 工業力学 多変数の微分積分学 理工系の物理学 剛体の力学 微分方程式 複素解析 物理化学入門 電磁気学基礎 I 電磁気学基礎 I 電磁気学基礎 I 電分子材料入門 システム創成基礎 物理学実験 確率統計学 科学と技術 特別講義	1前 1前 1後 1後 2後 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2後 2後 3前 3前	0	2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	U	000000000000 000		0	1 1 1 1	1 1 1 1 1 5		1		1 2 1 1 2 1 1 2 1	
			小計(16 科目)基礎製図基礎材料力学基礎有機化学基礎化学機械工作実習工業数学基礎材料力学演習基礎流体力学及び演習基礎熱力学及び演習	一 1前 1後 1後 1後 2前 2前 2前	0 0 0	2 2 2 2 2 2	24 2 2 2		0000 0000		0	1 1	5	0	1		9 1 1 1 1 1 2 1	

専門科目	材料力学 工業が料 ベンチャービジネス論 基礎振学 工業が大力クス PBはよスに動理と でである。 アカイオ アカイオ アカイオテトの アカイカーの ででは、 アカーの ででは、 アカーの ででは、 アカーの ででは、 アカーの ででは、 アガーの ででは、 アガーの ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	22222333333333333333333333333333333333	0	2	2 2 2 2 2 2 3 1.55 2 2 2 2 3 1.55 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			0	0	6	5		1	2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	機械システム設計及び製図Ⅲ PBLⅡ 学外実習(インターンシップ) I	3後 3後 3前・後			3 3 1		0	0	0	6	5		1	4	
	学外実習(インターンシップ)Ⅲ システム創成工学特別講義 サービスデザインによる社会課題解決				1 4 2		0		0	1				1	
	課題解決力養成講座 アントレプレナーシップ養成	2前 2前			2		0							1	
	イノベーション特別講義 ラボ・ゼミナールI ラボ・ゼミナールII	1前 1後			0. 5 0. 5			0		1 1					
	ラボ・ゼミナールIII ラボ・ゼミナールIV	2前 2後			0. 5 0. 5			0		1 1					
	ラボ・ゼミナールV ラボ・ゼミナールVI	3前 3後			0. 5 0. 5			0		1 1					
	システム創成総合 卒業研究	4前・後 4前・後			5 10			0	0	6 6	5 5		1 1		
	工業技術概論職業指導	3前 3前			2 2		0							1	注 1 注 1
		3削	_	16	97	0		_		6	5	0	1	1 49	往.1
	スキルアップセミナー	2前	0	1			0				_			1	
	基礎専門英語 キャリア形成論	2前 2前			1 2		0				1			1	
	有機化学I	2前			2		0							1	
	有機化学演習 I	2前			2			0						1	
	物理化学Ⅰ	2前			2		0							1	
	物理化学演習Ⅰ	2前			2			0						1	
	化学・バイオ工学概論 情報エレクトロニクス概論	2前 2前			2 2		0							1 1	
	キャリアプランニング	2後			2			0						1	
	数学IV	2後			2		0							2	
	科学英語	2後			2		0							1	
	有機化学Ⅱ	2後			2		0							1	
	有機化学演習Ⅱ 物理化学Ⅱ	2後			2			0						1	
	物理化学Ⅱ 物理化学演習Ⅱ	2後 2後			2 2		0	0						1 1	
1 1	1=.=. ***		1	1		ı	ı			1		1	1	. * !	

ソフトマテリアル工学 3後 2 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	高分子·有機材料工学分野	専門教育科目	合光物構論の特別では、「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	00	1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		00000 0000000000 0 0 00000	000	00 00 00 00	1				
合成化学輪講Ⅲ 4前 2 ○ 1 光・電子材料輪講Ⅲ 4前 2 ○ 1 物性工学輪講Ⅳ 4後 2 ○ 1 光・電子材料輪講Ⅳ 4後 2 ○ 1 物性工学輪講Ⅳ 4後 2 ○ 1 特別講義 3・4前後 2 ○ 1 小計 (66 科目) - - 9 120 0 - 1 1 64 情報エレクトロニクス概論 3前 2 ○ 1 1 学 高分子科学 2前 2 ○ 1 1 ※ キャリアブランニング 2後 2 ○ 1 1 総 キャリア形成論 2前 2 ○ 1 1 合品質管理 3前 2 ○ 1 1 情報処理機論 2前 2 ○ 1 1 化学工学I 2倍 2 ○ 1 1 中報 小計 2(後 2 ○ 1 1 化学工学II 2(6 2 ○ 1 1 1 <			光・電子材料輪講Ⅱ 物性工学輪講Ⅱ 研究開発プロポーザル 知的財産権概論	3後 3後 3後 4前	0	6	2 2 2		0000						1 1 1 1	
小計 (66 科目)			光・電子材料輪講Ⅲ 物性工学輪講Ⅲ 合成化学輪講Ⅳ 光・電子材料輪講Ⅳ	4前 4前 4前 4後 4後			2 2 2 2		00000						1 1 1 1	
情報エレクトロニクス概論 3前 2 ○ 夢 高分子科学 2前 ○ 1 際 キャリアプランニング 2後 2 ○ 総 キャリア形成論 2前 2 ○ 合 品質管理 3前 2 ○ 情報処理概論 2前 ○ 1 化学工学 I 2前 2 ○ 工 化学工学 II 2後 2 ○ 工 化学工学 II 3前 2 ○ 物理化学 I 2前 ○ 1 物理化学 I 2前 ○ 1 物理化学 I 2前 ○ 1 地理化 物理化学 I 2前 ○									0							
学 高分子科学 2前 際 キャリアプランニング 2後 総 キャリア形成論 2前 合 品質管理 3前 情報処理概論 2前 化学工学 I 2前 工 化学工学 II 2後 工 化学工学 II 2後 工 化学工学 II 26 物理化学 I 2前 物理化学 I 2前 物理化学 I 2前 公 1 物理化学 I 2前 公 1 物理化学 I 2前 公 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 0 2 0 3 0 4 0 4 0 5 0 6 0 7 0 8 0 9 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <t< th=""><th>\vdash</th><th></th><th></th><th></th><th>_</th><th>9</th><th></th><th>0</th><th></th><th>_</th><th></th><th>1</th><th>1</th><th>_</th><th></th><th></th></t<>	\vdash				_	9		0		_		1	1	_		
際 キャリアプランニング 2後 2 ○ 1 総 キャリア形成論 2前 ○ 1 合 品質管理 3前 2 ○ 1 情報処理概論 2前 ○ 1 化 化学工学 I 2前 ○ 1 工 化学工学 II 2後 ○ 1 空 化学工学 II 2 ○ 1 物理化学 I 2前 ○ 1 1 地理化学 II 2前 ○ 1 1 市 物理化学 I 2前 ○ 1 1 市 中央化学 II 2前 ○ 1 1		学														
総 キャリア形成論 2前 2 ○ 1 合 品質管理 3前 2 ○ 1 情報処理概論 2前 2 ○ 1 化 化学工学 I 2前 2 ○ 1 学 化学工学 II 2後 2 ○ 1 物 物理化学 I 2前 2 ○ 1 1 物 物理化学 I 2前 2 ○ 1 1 化 物理化学 II 2前 2 ○ 1 1		際														
情報処理概論 2前 2 ○ 1 1		総														
化 化学工学 I 2前 2 ○ 学 化学工学 II 2後 2 ○ 学 化学工学 II 3前 2 ○ 物 物理化学 I 2前 2 ○ 中 物理化学 II 2前 2 ○ 化 物理化学 II 2前 ○ 1 1 日 1 1 1 1		合														
学 化学工学II 2後 1 学 化学工学III 3前 2 ○ 物 物理化学 I 2前 ○ 1 中 物理化学 I 2前 ○ 1 1 化 物理化学 II 2前 ○ 1 1		化.										-				
→ 化学工学Ⅲ 3前 2 ○ 1 物 物理化学 I 2前 2 ○ 1 1 理化 物理化学 II 2前 2 ○ 1 1		学														
物理化学 I 2前 理化 物理化学 I 2前 2 2 0		工 学		-												
理	-	物							_					1		
							2								1	
+ W⊄ J#		学	物理化学Ⅲ	2後			2		0						2	

		- .													i i		
	無機	無機化学 I	2前			2		0								1	
	化	無機化学Ⅱ	2後			2		0								1	
	学	分析化学	2前			2		0								1	
	有	有機化学I	2前			2		0								1	
	機 化	有機化学Ⅱ	2後			2		0								2	
	学	有機化学Ⅲ	3前			2		0								1	
	,	細胞生物学 I	2前			2		0								1	
応	バ	細胞生物学Ⅱ	2後			2		0								1	
用	イ	生化学 I	2前			2		0								1	
化	オ	生化学Ⅱ	2後			2		0			1					1	
学		環境化学	2後			2		0			1						
化																1	
学		エネルギー化学	3前			2		0								1	
工		マテリアル化学	3後			2		0								1	
学		化学プロセス工学	3前			2		0								1	
分		化学システム工学	2後			2		0			1					1	
野		機器分析学	3後			2		0								2	
バ		無機工業化学	3前			2		0								2	
イ		有機工業化学	2後			2		\circ								1	
オ		有機合成化学	3後			2		0								1	
工学	発 展	食品工学	3後			2		0								2	
分	胶	医薬品化学	3後			2		0								1	
野		化粧品学	3前			2		0								1	
		医用細胞工学	3前			2		0								1	
		遺伝子工学	3前			2		0								1	
		微生物工学	2後			2		0									
		生理学														1	
		· ·	2後			2		0								2	
		再生医工学	3後			2		0								2	
		生命分子工学	3前			2		0			1					1	
		感覚細胞工学	3後			2		0								1	
		化学工学演習	3後			2			0							2	
	定	物理化学演習	3後			2			0					1		2	
	演 習	無機化学演習	3後			2			0							1	
	н	有機化学演習	3後			2			0							5	
		バイオ演習	3後			2			0							4	
		化学基礎実験A	2後	0	1					0						1	
		化学基礎実験B	2後	0	1					0						1	
	実	化学実験 I	3前	0	2					0						1	
	験	化学実験Ⅱ	3前			2				O						1	
		バイオ実験	3前			2				0						1	
		化学・バイオ工学実験	3後	0	4	_				0						1	
		化学・バイオ工学基礎演習	2前	0	2				0							1	
	24	化学・バイオ工学英語		0	2			0									
	· 必修		3後													1	
		輪講 I	4前	0	2			0								1	
	.,	輪講Ⅱ	4後	0	2			0	-				-			1	
	共通	数学IV	2後			2		0								1	
	坦	知的財産権概論	2前			2		0				.				1	
		小計 (58 科目)			16	100	0		_					1		74	
		キャリア形成論	2前			2		0								1	
		数学IV	2後			2		0								2	
		キャリアプランニング	2後			2		0								1	
		化学・バイオ工学概論	3前			2		0								1	
		高分子科学	3前			2		0								1	
		離散数学	2前			2		0								1	
		情報科学演習	2後			2			0							1	
		計算機基礎	2前			2		0								1	
		電気回路I	2前			2		0			I					2	
		電気回路I演習	2前			2		_	0							1	
		電子物性 I	2前			2		0	l							1	
		プログラミング演習 I (情報・知能)	2前			4			0							1	
		プログラミング演習 I (電気・電子通信)	2前			4			0		I					1	
		情報理論				2		\circ			I						
		確率概論	2後					0								1	
			2後			2		0								1	
		オートマトンと言語理論	2後			2		0			I					1	
ı		ソフトウェア工学	2後	I	I	2	l	0	I	l	I	l	I			1	

		L	,	1						, ,				
		線形システム基礎	2後			2		0					2	
		プログラミング演習Ⅱ(情報・知能)	2後			4			0				1	
		プログラミング演習Ⅱ(電気・電子通信)	2後			4			0				1	
		電磁気学Ⅱ	2後			2		0					1	
		電磁気学Ⅱ演習	2後			2			0				2	
		電気回路Ⅱ	2後			2		0					1	
		電気回路Ⅱ演習	2後			2			0				1	
		電子物性Ⅱ	2後			2		0					1	
情		エレクトロニクス実験Ⅰ	2後			2				0			1	
報		ベンチャービジネス論	2後			2		0		0			1	
· .	-1-	データ構造とアルゴリズム	3前			2		0					1	
知能	専	情報科学実習I	3前			2							2	
ITI										0				
学分	門	プログラミング演習Ⅲ	3前			4			0				2	
分		情報化社会と職業	3前			2		0					1	
野	±4.	数值解析	3前			2		0					1	
	教	認知科学入門	3前			2		0					1	
		計算機アーキテクチャと0S	3前			2		0					1	
電	育	電子回路I	3前			2		0					1	
気		英語セミナー	3前			2		0					1	
電子	科	信号処理	3前			2		0					1	
通	17	データ通信	3前			2		0					1	
信		センシング工学	3前			2		0					1	
I T. I	目	論理回路	3前			2		0					1	
学分		半導体工学	3前			2		0					1	
野		知的財産権概論	3前			2		0					1	
		エレクトロニクス実験ⅡA	3前			1				0			1	
		エレクトロニクス実験ⅡB	3前			1				0			1	
		エレクトロニクス実験ⅢA	3前			1				0			1	
		科学と技術	3前			2		0		0				
		情報科学実習Ⅱ						0					1	
			3後			2				0			3	
		情報計画工学	3後			2		0					1	
		データベース論	3後			2		0					1	
		マイクロプロセッサとインタフェース	3後			2		0					1	
		ディジタル画像処理	3後			2		0					1	
		PBL演習	3後	0	2				0				1	
		電子回路II	3後			2		0					1	
		電気機器学	3前			2		0					1	
		パワーエレクトロニクス	3後			2		0					1	
		エレクトロニクス実験ⅢB	3後			1				0			1	
		データサイエンスと機械学習	3前			2		0					1	
		暗号と情報セキュリティ	3前			2		0					1	
		情報エレクトロニクス特別講義	4前			2		0					1	
		通信システム	3後			2		0					1	
		電力工学	3後			2		0					1	
		電力伝送工学	4前			2		0					1	
		電気法規及び施設管理	4前			1		0					1	
		輪講(情報·知能)	4前			2		0					1	
		輪講(電気・電子通信)	4前			2		0					1	
		特別講義	3・4前後			2		0					1	
		小計 (66 科目)	一 一	_	2	135	0		_				74	
-	由	化学・バイオ工学概論	2前			2		0					1	
	専	情報エレクトロニクス概論	2前			2		0					1	
	門	キャリア形成論	2前			2		0						
													1	
	基	キャリアプランニング	2後			2		0					1	
	礎	数学IV	2後			2		0					2	
	1AE	機械計測法	2後			2		0					1	
	科	電気・電子回路	3前			2		0					1	
		高分子科学	3前			2		0					1	
	目	特別講義	3・4前後			2		0			<u> </u>		1	
		テクニカルイングリッシュ	3前	0	2			0					1	
		エンジニアリング創成	3後	0	3					0			1	
		材料科学	2前			2		0					1	
		機構学	2後			2		0					1	
		材料力学Ⅱ	2後			2		0					1	
1 1					•	•	•			ı l	•	. !		

	_		_		_	_	_	_	_	_	_	_	 _	_	_	
機		機械工作法	2後	I		2		0							1	[[
械		生体の力学Ⅰ	3前			1		0							1	
シス		生体の力学II	3前			1		0							1	
クテ		伝熱工学	3前			2		0							2	
ム		計算力学	3前			2		0							1	
T	専	機械システムプログラミング														
一学分野			3前			2		0							2	
分	BB.	圧縮性流体工学	3前			2		0							1	
野	門	エネルギー変換工学I	3前			2		0							1	
		航空宇宙工学	3前			2		0							2	
	科	連続体の振動学	3後			2		0							1	
		計算熱流体力学	3後			2		0							1	
	_	エネルギー変換工学Ⅱ	3後			2		0							1	
	目	知能システム工学	3後			2		0							1	
		バイオロボティクス	3後			2		0							1	
		医用システム工学	3後			2		0							2	
		•														
		ディジタル信号処理	3後			2		0							1	
		メカトロニクスI	3後			1		0							1	
		メカトロニクスII	3後			1		0							1	
		CAD/CAM/CAE	3後			2		0							1	
		知的財産権概論	2前			2		0							1	
		機械システム工学特別講義	3・4前後			3		0							1	
		小計 (35 科目)	_	_	5	63	0		_						40	
		建築学概論	2前	0	2			0							1	
		図学	2前			2		0							1	
		基礎設計製図	2前	0	2				0						2	
		新材料加工学	2前			2		0	0						1	
		***************************************			0											
		西洋建築史	2前	0	2			0							1	
		環境工学	2前	0	2			0	_						1	
		環境工学演習	2前			2			0						1	
		住居計画学	2前	0	2			0							1	
		建築構造力学	2前	0	2			0							1	
		建築構造力学演習	2前			2			0						2	
		建築一般構造	2後	0	2			0							3	
		建築法規	2後	0	2			0							1	
		測量学	2前			2		Ō							1	
		測量学実習	2前			2				0					1	
										0					2	
		建築設計製図 I_1	2後			1										
		建築設計製図 I _2	2後	_		1		_		0					2	
		建築設備	2後	0	2			0							1	
		建築材料学	2後	0	2			0							1	
		インテリアデザイン論	2後			2		0							1	
		ユニバーサルデザイン論	2後			2		0							2	
		建築計画	2後			2		0							1	
		環境自然科学演習	2後			2			0						1	
	専	建築設計製図Ⅱ_1	3前			1				0					3	
		建築設計製図Ⅱ_2	3前			1				0					3	
建	門	住環境論	3前			2		0							1	
築	11															
		施設計画	3前			2		0							1	
デ	教	耐震構造	3前			2		0		_					1	
ザ		建築材料学実験	3前			2				0					2	
イン	育	建築環境エネルギーデザイン	3前			2		0							1	
学	Ħ	建築環境リサイクル	3前			2		0							1	
学分		建築史演習	3前			2			0						2	
野	科	地震工学	3前			2		0							1	
		新材料加工学演習	3前			2			0						1	
	目	住まいと庭園	3前			2		0	_						1	
	Ħ	都市・地域計画演習	3前			2			0						2	
					2											
		都市・地域計画	3後	0	2	_		0							2	
		地盤工学	3後	_		2		0							1	
		建築施工	3後	0	2			0							1	
		景観設計	3後	I		2		0							3	
		木質構造デザイン演習	3後	I		2			0						1	
		建築構造デザイン	3後	I		2		0							2	
		木質構造デザイン	3後	I		2		0							2	
	ı	1			•		1	. ~	•		ı					I

	建築環境エネルギーデザイン実験 建築環境実験 建築計画演習 工業英語 デザイン基礎 地域デザイン論 地域デザイン演習 インダストリアルデザイン ゼミナール 数値解析 知的財産権概論 建築・デザイン特別講義 小計(55 科目)	3後 3後 4前 2前 2前 2後 3前 3後 4前 4前 4前 3・4	_	24	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	000 00000	0 0	00						1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	計 (351 科目)	_	_	78	621	0				5	6	0	1		387	
	合計 (371 科目)	-	_	96	704	0		_		12	14	0	4		418	
	学位又は称号 学士(1	工学)		学	位又	は学科	中の分	野					工学	関係		
	卒業・修了要件	及び	履修	方	法							授美	業期間	等		
. /	1 213 12 7 21 11	<i>"</i>	, in					1 :	学年の)学!	朝区を	*/ */	14,7,311.3	, ,		2期
									学期の							15週
(1	 ・修業年限 4年 ・卒業に要する最低単位数 126単位 (基盤教育科目28単位+専門教育科目98単位) ・基盤共通教育科目 導入科目4単位 基幹科目6単位 教養科目と共通科目18単位 ・専門教育科目内訳 必修科目22単位 選択必修科目12又は7単位 選択科目 64又は69単位 (注1)教職関連科目のため、卒業に必要な修得単位に含まれない。 															

- 1 学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には,授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等,研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合,大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は,各授業科目について,「必修」,「選択」,「自由」のうち,該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は,大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は,「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

		 業	———— 科	目	の	概	要	日本産業規格A4級型)
(理工学研 科目 区分	研究科数理情報システム専攻) 授業科目の名称	主要授業科目			講義等の内容			備考
基盤教育科目	地域創生・次世代形成・多文化共生論		主たるテーロ現代方のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	「地域創生」, 「マとし、講義を を背景としたとした。 を背景との知を を会科学の知を のかを存来像から どのように学修 倫理」について	:通じ,現代にJ 課題に対し、研 駆使してどのよ る。これにより バックキャスト してゆくかを考	取り巻く地域 究者・実践 うな方法論 , 学生自身 することで,	或の活性化やグ 家が自然科学・ に基づいて向き に自らの将来像 、大学において	
基礎専門科目	異分野連携論		索) に関す 解・協同の 理解させ陽と と 響, および	科学・技術の内容 を最先端の内容 ための取組みす ことを画面に社会 原文技術社会論 である。	ドを紹介するこ。 ・仕組み作りに る。これに加え をもつ科学・技 件による科学・	とで, 分野の おいて必要 , イノベー 術による社 技術の制約	の枠を超えた理 な要素を把握し ションや人災事 会への様々な影 の作用の両面を	
	異分野実践研修		を超えた理 異なる学内 異分野の産 異分野の研	自らの専門とは 解・協働を促進 の異分野研究室 業現場における 究施設における 通じて,異分野	する実践力あり での研修(例: 実習(学外企業 実習又は国外に) 方を習得す 研究室ロー へのインタ おけるフィ	るため, 専門が テーション), ーンシップ), ールドワークへ	
	キャリア・マネジメント		によって、 めに必要な 自身のキャ 力を獲得す	する優れた研究 研究者・高度専 、大学に修了後 リアについて考 べきかについて ることを目的と	門職従事者とし のキャリアパス 察し、それを実 主体的に考える	て十分自立 について学、 現するため	して活動するた ぶ。大学院生が にどのような能	
	研究者としての基礎スキル		に に に に に と り 知 ム 富 イ 変 型 大 も は 成 に た り 知 ム 富 イ 奥 型 村 域 成 に ル レ ル レ に れ ば の 地 に れ に に れ に に れ で に が は の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	究マネジメント E素/1回) 究マネジメント E/1回) スキル 貴裕/1回) スキル シスキル カエー/1回) スキル カエ/1回) スキル	これらの基礎的 アップへ向けた 目的とする。ま 理解することを 憲 /1回))	スキルに対 課題発見おた、研究倫	する理解を深め よび解決へ向け	オムニバス方式
	データサイエンス		もイる。 (イ3 で 16 デの 6 デ 66 で 663 で 66	現とデータ解析 志、75 常松佳見 イエンス分野に 樹/1回) イエンスを支え ス・ラリー、51 野におけるデー	な手法を学び、 な手法を学び、 手法 (Manage of the part of the par	研究や業務、基礎的意	の中でデータサ 素養を身につけ	オムニバス方式

Academic Skills : Scientific Presentations + Writing	(英文) In "Academic Skills: Scientific Presentations + Writing," we will learn how to use English effectively for scientific purposes. This course will teach the usage of English in academic presentations and academic writing. The course will focus on English phrases as well as smart presentation techniques. Examples of such are meaningful comparisons, figures, and labels. (和文) 学術的な文章で英語をどのように効果的に使用すればよいかを学ぶ。このコースでは、アカデミックライティング、プレゼンテーションにおける英語の使用方法について講義する。また、スマートなプレゼンテーションのために役に立つ英語フレーズ、効果的な図表の入れ方についても学ぶ。	
社会文化創造論	「文化」を「社会」との関連の中で俯瞰的に捉える視点を学び、現代社会が直面する課題についての分析スキルを身につけ、課題が生じる原因を的確に理解して社会の変革に対応する力を修得する。本講義は、学生が「文化」と「社会」に関わる貢献や学術研究をみずから構想するにあたり、社会文化創造研究科における教育・研究に即した特徴的なアプローチがどのようなものであるかについて、学術的な共通基盤を身につけることを目的とするものである。(オムニバス形式/全8回)(589三上英司/3回) オリエンテーションと「内的多文化と外的多文化」「社会と文化の形成過程」「共生とグローバリズム」(46 加藤健司/2回) オリエンテーションと「文化の融合と転移」「文化の伝播と変容」(54 大喜直彦/2回) オリエンテーションと「地域間ネットワークの形成と信仰」「地域間ネットワークの発展と経済」	オムニバス方式
知財と倫理	研究活動を進めていく上で必須となる知財及び倫理についての基本知識や考え方を習得することを目的とする。授業の方法は、知財及び倫理に関する講義とグループディスカッション,演習を組み合わせて構成する。	
技術経営学概論	技術経営とは何かに関して、基礎的な知識を習得する。技術経営と価値創成の意義、イノベーションエコシステムとバリューチェーン、コア技術戦略、アーキテクチャーとプラットフォーム、組織能力とプロセスマネジメント等について学ぶ。技術経営学全体を概観するとともに、マネジメント領域の専門科目の基盤となる基本的知識の理解を深める。	
食の未来を考える	生産,加工,醸造,流通,安全といった食の川上から川下まで,食の 未来について考え,専門分野の枠にとらわれず「食」に関する基礎知 識を身につけることを目的とする。農学部の複数の教員がオムニバス 方式で,主にパワーポイントを用いた講義を行う。 (オムニバス形式/全8回) (79 藤科智海/1回) 食の現状 (64 渡部 徹/1回) 食の安全 (49 小関阜也/1回) 発酵食品 (68 叶奈緒美/1回) 食品素材(品種改良) (80 松山裕城/1回) 食品素材(畜産物) (88 陳 奥雅/1回) 食に関わる消費者行動 (70 渋谷知輝/1回) 食品系廃棄物のアップリサイクル (61 村山秀樹/1回) 食品流通	オムニバス方式
Global Materials System Innovation	材料の基礎から応用に至る知識の修得のみならず、それらを核として 他分野との連携により拡張される、より広範な材料システム分野を発 展させ、社会実装につなげるべく、高度な材料に関わる専門知識と周 辺分野に関わる幅広い知識を兼ね備え、新たな付加価値を創成できる グローバル人材に求められる能力・知識力・技術力・専門力の素養を 身に着けることを目的とします。	

	先端医科学特論	21世紀型医療を取り巻く実際と将来的展望について理解し、医療における倫理とその問題について理解を深めることを目的とする。 医科学における最先端の話題を取りあげることにより、現代医療と医療の将来像について多角的に外観するとともに、生命倫理の重要性を認識する。 (オムニバス形式/全15回) (81 水野 大/1回) 医療と法律 (47 鹿戸将史/1回) (62 山口浩明/1回) (62 山口浩明/1回) (62 山口浩明/1回) (60 村上正泰/1回) 社会経済環境の変化と医療政策の過去・現在・未来 (41 太田康之/1回) (84 仕事 教/1回) (87 邵 カ/1回) (87 邵 カ/1回) (87 邵 カ/1回) (87 福井氏/1回) (86 佐藤秀則/1回) (86 佐藤秀則/1回) (86 佐藤秀則/1回) (86 佐藤秀則/1回) (86 佐藤秀則/1回) (86 佐藤秀則/1回) (87 越智陽城/1回) (67 越智陽城/1回) (67 越智陽城/1回) (67 世紀 (47 世紀) (47 世紀) (48 世紀) (49 世紀) (4	オムニバス方式
	AIデザイン演習	人工知能(artificial intelligence; AI)の基礎技術である機械学習に関する基本的な知識を学ぶ。また、さまざまなデータセットを用いたプログラミング演習を通して、機械学習の一連の処理を実装するための基本的な能力を身につける。	
高度専門科目I	数理情報システム特論	数理・データサイエンス・AI等の研究者及び実務家教員による講義を通して、研究開発の現場で必要とされる知識や実際の開発経験について学び、実務家教員との意見交換を通して受講者が課程修了後のキャリアパスを考える機会も提供する。(オムニバス形式/全15回)第1~5回:大学の研究者による数理・データサイエンス・AIの最新の研究成果に関する講義第6~10回:大学研究者・情報系エンジニア(システム系企業より実務家教員を派遣)による大学・企業での研究開発・問題解決の事例の紹介第11~15回:大学研究者・電気電子系エンジニア(電機系企業より実務家教員を派遣)による大学・企業での研究開発・問題解決の事例の紹介	オムニバス方式
	高度情報インターンシップ	5G・IoT・AIコンソーシアムに加盟している企業等での実習を通じて、企業担当者の指導のもと、本専攻で学んだ専門的知識と能力を応用して開発・製造現場等で問題となっているデジタル技術の課題を抽出し、実際にその課題を解決することで高度情報人材に求められるスキルを習得する。	
高度専門科目Ⅱ	先端情報科学演習	データサイエンスおよびAIの理論と適用方法を、実際の問題解決を通して習得する。データサイエンスの分野では、データ処理を通して多変数回帰解析や決定係数の算出などを実践的に学び、実データに対処するための最新技術を学ぶ。またAIの基礎理論の分野では、深層ネットワークの構造、最尤推定、勾配降下法、トランスフォーマーモデルなどを理解する。さらに、学生はAI(画像認識・自然言語処理など)のブログラム構築を体験し、データ解析から問題解決に至るスキルを向上させる。学生が関連分野の理論概念を問題に適用することを通して、実際的なスキルを身に着けることが期待される。	
	情報数学特論	本講義は、自然科学分野の諸現象の数理モデルに現れる常微分方程式と偏微分方程式の近似解を求める有限差分法の理論を概説する。常微分方程式の初期値問題の高精度解法の導きを解説し、行列解析の視点から偏微分方程式の境界値問題の解析解と数値解の間の関係を考察することにより、誤差解析と収束解析を行い、論理的な思考力を修得する。また、数値計算の仕組みをより深く理解し、数値アルゴリズムを実装する計算力を培う。具体的な応用例を取り上げ、数値シミュレーションを行いながら自然現象を数値的に解明するための素養を身に着けることを目的とする。	
	画像処理特論	画像処理、および、画像処理を行うプログラムを紹介し、その使い方を知ってもらうことを授業の目的とする。授業では、さまざまなレベルのプログラミングスキルを持つ学生に対して、個々のレベルに合わせた指導を行う。これまでにプログラミング経験のない学生は、事前に配布するプログラムのコードを理解し、それを「ブラックボックス」として使用できることを目的とし、主にアルゴリズムの基本を学ぶ。他の学生は、自分のニーズに適応できるようにアルゴリズムを実装する方法について詳しく学ぶ。具体的には、1)プログラミングの基礎 2)データの収集と注釈 3)データサイエンス・プロジェクト、という3つのテーマについて、4~5回/テーマ程度のペースで進める。	

情報数理特論	本講義では、確率分布関数に基づく数理モデルの考え方を紹介し、応用として統計モデルを用いたデータ分析手法を身に付けることを目的とする。線形回帰やロジスティック回帰、およびその正則化、一般化線形モデル、隠れ変数モデル、状態空間モデルといった統計モデルを紹介し、その背後に仮定されている考え方を解説する。また、シューア補行列や逆行列の補助定理などの線形代数の行列演算を学習し、多変量正規分布に基づく統計モデルの理解に必要となる計算技術を習する。さらに、統計モデルのパラメータ推定の手法をいくつか取り上げ、統計モデルをプログラミングによって実装する際に役に立つ知識を提供する。	
情報科学特論	本講義では、様々な計算モデルを紹介し、その計算能力について理解することを目的とする。チューリング機械や論理回路、有限オートマトンといった計算モデルについて解説し、計算能力の指標となりうる要素を説明する。また、量子計算モデルについても取り上げ、その定式化や古典計算モデルとの違いについて説明する。さらには量子計算モデルの優位性を示す例を解説し、これを通して量子アルゴリズムの特徴を理解する。講義の中で、量子計算モデルの比較対象として確率計算モデルも取り扱うため、確率アルゴリズムについても同時に理解を深めるような解説を行う。	
機械学習・データサイエン ス特論	当該講義は、機械学習やデータサイエンスに関連する各種技術について解説する。種々のデータ分析手法を含むデータマイニングや人工知能など、機械学習とデータサイエンスに関わる理論・技術・応用の幅広い範囲がスコープとなる。ディープラーニングをはじめとした様々な機械学習、クラスタリング技術や可視化技術に代表されるデータマイニング、そして人工知能などが主なテーマとなる。機械学習とデータサイエンスの基礎的な考え方から運用の仕方まで、それら一連のスキームを理論と応用の両側面から学び、データサイエンティストとしての素養を養うことが当該講義の目的となる。	
数理・情報処理特論	本講義では、自然界に存在する様々な複雑系(生体、経済、社会など)の数理的なメカニズムに焦点を当てる。非線形力学系の数学的手法を適用することで、システム全体の相互作用を解析するための基礎理論を説明すると共に、複雑な現象をモデリングして、効果的に制御するための応用法を概説する。複雑系を利用した情報処理システムの典型例として、神経回路の生理学的知見や神経伝達・自己組織化のメカニズムについても解説する。講義を通して、学生は安定性や分岐、カオス、フラクタクルといった数理的な概念を身に着けることで、数理・情報処理における理論的、実践的な技術を習得することが期待される。	
応用情報処理・センサ工学 特論	本講義では、各種センサーや計測装置によるデータの取得のみなら ボータから所望する情報の抽出、それにより得られた情報の活用 に至るまでの広範囲を扱う。すなわち、測定原理に加え、それを理解 した上でのセンサーの選択、計測技術に基づくデータの取得、得られ たデータに適用する情報処理手法や解析手法、解析により得られた結 果に対する可視化技術や表示手法、結果に対する解釈を含む内容につ いて講義する。なお、データの発生源はセンサーのみに限定せず、人 間から取得したアンケートなどの主観データやコンピュータ等により 生成された様々なデータも対象とする。	
先端情報システム特論	当該講義は、ハードウェアからソフトウェアにわたる情報システムに対する先端的理論・技術を扱う。大容量化する情報システムを支えるハードウェア理論や高効率的なソフトウェア開発のための数理理論、そしてそれらを前提とした応用理論の広がりを含む、情報科学的先端理論・技術が当該講義のスコープである。当該講義の一つの主柱は、高度化情報システムを支える集積回路理論・アルゴリズムの本質的構造を分析する計算理論・大容量情報通信システムを支える通信理論などを含む技術である。もう一つは、前述の技術を前提とした、システムデザイン論などの応用的広がりに関する理論・技術である。情報科学を支える広大な技術に触れ、情報科学者のための素養を養うことが当該講義の目的である。	
高度数値シミュレーション 特論	当該講義は、高度情報システムの基盤を支える計算アルゴリズムや、 大規模シミュレーション等を扱う。数値計算アルゴリズム、数値最適 化、物理シミュレーションを含む大規模シミュレーションなどの基礎 理論から、実装理論、そして実践的応用にわたる幅広い範囲が当該講 義のスコープとなる。電磁界解析や構造解析、分子動力学に基づく大 規模物理シミュレーションなどの工学的基礎を支える技術や、数理最 適化やコンピュータグラフィックスなどの情報科学的基礎を支える技 術など、多くの重要な数値シミュレーション的要素技術に触れ、それ らの基礎を習得するのが当該講義の目的である。	

知識センサー情報工学特論	高度情報化社会において各種センサーにより計測した様々なデータをICT技術で収集し、ビッグデータ・AI解析によりインテリジェントに実社会にフィードバックして生活を支援するスマートシステムの構築が進んでいる。本講義では、様々な計測信号をネットワーク上で伝送する各種IoT半導体センサーの原理や構造・超小型省電力設計手法について学ぶと共に、センサー情報を収集・処理するICT技術と低消費電力信号処理集積回路技術およびエッジAIコンピューティングやクラウド技術について理解する。さらに、多次元データ情報を解析する知能情報工学としてのビッグデータ解析や深層学習などのAI解析について、遺伝子情報解析や体調の見える化・予兆解析などを通じて健康維持や環境保全などの社会課題解決に資するスマートシステムの基盤構築手法について講義する。	
光波・通信工学特論	高い信号対雑音比で情報システム技術を支える高周波電磁界と光波に 関連した講義を行い、スマート社会につながる計測・通信応用の学術 的な知識を学ぶ、光の発生・検出のための物性物理・半導体素子構 造・電子輸送といったメカニズムを量子力学に照らして理解し、光波 の導波・制御のための屈折率構造・周期構造についてマクスウェル方 程式に基づき理解する。光と物質の相互作用の知識から光の性質を演 繹的に理解する、光の性質を利用した通信システムとそのシステムを 構成するデバイス・装置の機能と原理の現状を理解し、次世代のシス テム設計の考え方を涵養する。	
電子・量子デバイス特論	半導体素子に代表される電子デバイスは情報処理や通信技術の基盤であり、また超伝導量子デバイスは量子コンピュータや超高感度センサーとして高度情報化社会におけるデータ処理速度向上やせキっは、 ディの向上など多岐にわたる分野で重要となっている。本講義では、半導体デバイスであるpn接合のキャリア輸送機構の理解のもとに、各種トランジスタの高速化限界とこれを打破するための先進テクノロジー、ナノスケールで構造制御された半導体デバイスでの量子効果とデバイス応用について講義する。また、超伝導体の基礎的性質と代表的な理論について概説し、超伝導デバイスのトンネル現象やジョセフソン接合の基礎及び高周波応用について講義する。	
電力・エネルギー特論	低炭素社会実現と電力利用の最適化のために、これまで一方的に発電と送電が行われてきた旧来の電力・エネルギー技術と情報通信技術が融合したスマートグリッドに代表される電力ネットワークの構築が進んでいる。さらに、貴重なエネルギーをロスなく利用するデバイスの省エネルギー化も急速に進んでいる。本講義では「電力・エネルギー×情報」人材を育成するために、電力・エネルギー分野の中から高電圧・大電力技術と省エネルギーデバイス技術について紹介し、電力・エネルギー技術と情報技術との関係についても学ぶ。	

高度専門科目Ⅲ	数理情報システム特別演習	当科目は、数理情報システムに関連する基礎的文献および専門的文献を輪離し、数員と学生を交えたメンバーで議論して理解を発力とともに課題を発見、解決する方法を探求し、専門知識や方法を的確に表現し学ぶことを目的とする修士論文を作成するための基礎となる科目である。 (1 久保田繁) 太陽電池の光制御技術を研究課題とし、光学シミュレーション及び数理最適化について研究指導を行う。 (2 小島武夫) 量子可轄分系の対称性を研究課題とし、相関関数の厳密解の構成に関する研究指導を行う。 (3 齊藤 乾) 66移動体通信用フィルタの開発を研究課題とし、導波管フィルタの設計と作製に関する研究指導を行う。 (4 佐藤 学) 光波断層画像計測の研究指導を行う。 (5 高野勝美) 通信技術の高度化を研究課題とし、光通信システムの設計と評価運用に関する研究指導を行う。 (6 中西正樹) 量子計算機の能力の解析を研究課題とし、各種オートマトンを用いた言語の認識可能性の証明や量子アルゴリズム開発に関する研究指導を行う。 (7 成田 克) 次世代パワー半導体材料の高品質化を研究課題とし、半導体材料の結晶成長に関する研究指導を行う。 (7 成田 克) 次世代パワー半導体材料の高品質化を研究課題とし、多様なデータデネスト・画像・グラフ等)の表現学習に関する研究指導を行う。 (9 廣瀬文彦) 原子レベルで材料界面を制御することを特徴とした機能デバイスの製造技術に関する研究指導を行う。 (10 深見忠典) 脳波計測および信号処理手法を用いて、非侵襲型プレインコンビュータインタフェースに関する研究指導を行う。 (11 方 青) 非線形反応拡散方程式の数値解法を研究課題とし、高精度の離散スキームの開発とその数値解析に関する研究指導を行う。 (11 海谷韓史) パワーエレクトロニクスを基礎とするパルスパワー技術を研究課題とし、バルス発生回路の開発と応用に関する研究指導を行う。 (12 安日崇朝) データサイエンスの深化を研究課題とし、統計的機械学習理論に関する研究指導を行う。 (14 山内泰樹) 心理物理学や感性評価の手法を応用して、色覚メカニズムや照明の快適性に関する研究指導を行う。 (15 横山道尖)	
		(デキスト・画像・グラフ等)の表現学習に関する研究指導を行う。 (9 廣瀬文彦) 原子レベルで材料界面を制御することを特徴とした機能デバイスの製造技術に関する研究指導を行う。 (10 深見忠典) 脳波計測および信号処理手法を用いて、非侵襲型プレインコンピュータインタフェースに関する研究指導を行う。 (11 方 青) 非線形反応拡散方程式の数値解法を研究課題とし、高精度の離散スキームの開発とその数値解析に関する研究指導を行う。 (12 南谷靖史) パワーエレクトロニクスを基礎とするパルスパワー技術を研究課題とし、パルス発生回路の開発と応用に関する研究指導を行う。 (13 安田宗樹)	
		する研究指導を行う。 (14 山内泰樹) 心理物理学や感性評価の手法を応用して、色覚メカニズムや照明の快適性に関する研究指導を行う。 (15 横山道央) IoTセンサネットワークシステムを用いた信号解析を研究課題とし、システム設計とビッグデータ解析による健康生活支援に関する研究指導を行う。 (16 脇 克志) 画像データの分類と特徴抽出によるデータベース構築を研究課題とし、目的に合わせた各種フィルターの適用方法と特徴抽出手法に関する研究指導を行う。	
		(17 安達義也) 3d遷移金属化合物の磁気物性の解明を研究課題とし、高圧力下での磁気物性に関する研究指導を行う。 (18 有馬ボシールアハンマド) ナノテクノロジーを利用し、水の光分解から水素製造システムに関する研究指導を行う。 (19 内澤 啓) ニューラルネットワークの計算能力解明を研究課題とし、計算量理論の数学的命題に関する研究指導を行う。 (20 大槻恭士) 人狼知能を研究課題とし、ヒューマンエージェントインタラクション、機械学習、自然言語処理について研究指導を行う。	

(21 大音隆男)

ナノ構造を基盤とした次世代発光デバイスの開発を研究課題とし、 発光デバイスの設計・作製手法や特性評価に関する研究指導を行う。

(22 奥山澄雄)

ガスセンサの特性向上を研究課題とし、固体式ガスセンサに関する 研究指導を行う

(23 木ノ内誠) ゲノムからの新たな生命情報抽出を研究課題とし,DNA塩基配列解 析に関する研究指導を行う。

(24 小池邦博)

次世代のグリーン電磁材料として期待される新規磁性材料の開発を 研究課題とし、マイクロマグネティックスとナノ磁石形成に関する研 究指導を行う

(25 齋藤 歩)

高性能数値シミュレーション技術の開発を研究課題とし、メッシュ レス法の高速化や精度向上に関する研究指導を行う。

(26 齋藤誠紀)

フュージョンエネルギーに関するシミュレーションを研究課題と し、主にプラズマと材料の相互作用を数値解析する技術について研究 指導を行う。

(27 杉本俊之)

静電気応用技術の新展開を研究課題とし、静電センサーによるによ るインフラ劣化点検や静電塗装、静電造粒、静電粒子ハンドリング等 の指導を行う

(28 高山彰優)

高性能電磁界解析の開発を研究課題とし、高温超伝導体内遮蔽電流 密度の時間発展シミュレーションとその応用に関する研究指導を行

(29 多田十丘衛)

計算機の高性能化・低消費エネルギー化を研究課題とし、プロセッ サ及びメモリシステムの設計に関する研究指導を行う。

(30 田中 敦)

複雑系システムの解明を研究課題とし、自律分散系のデータ分析と 数値解析に関する研究指導を行う。

(31 ディエズ ドノソ サンティヤゴ) コンピュータービジョンとディープラーニング技術を使用して,応用問題を解決する。 例としては,古文書内の漢字の検出,ドローン画像内のさまざまな種類の樹木の検出,公共のマンモグラフィー データベースからの癌画像の分類などがある。

(32 早田孝博)

球充填問題に対するボロノイの手法を用いて、対称領域上への応用 や一般化について研究指導を行う。

(33 柳田裕隆)

音波の空間計測と空間制御を課題とし、音響信号処理と画像処理、 および深層学習に関する研究指導を行う。

(34 荒井 隆)

質的データに対するデータ分析手法の開発を研究課題とし、統計モ デルのプログラミングによる実装や、実データへの適用に関する研究 指導を行う

(35 榊原由貴)

宇宙論的格子シミュレーション手法を用いた初期宇宙起源の重力 波・暗黒物質候補研究について指導する。

(36 高橋茶子)

敵対的攻撃や能動学習など機械学習に関連する課題を取り上げ、確 率モデルに基づく問題解決について研究指導を行う。

(37 武田利浩)

インターネット上の情報の伝播や拡散を研究課題とし、SNS上の会 話の分析や可視化に関する研究指導を行う

(38 原田知親)

集積化マルチセンサと極低電圧動作情報処理集積回路の開発, IoT/ICT技術を用いた「人・モノの見える化」を研究課題とし、トランジスタベースのマルチセンサデバイスの設計・作製と、PWM信号による極低電圧情報処理回路の設計・試作、IoT技術を用いた複合セン サデータ収集・解析システムの設計・作製に関する研究指導を行う。 (39 山田博信)

テラヘルツ波の応用を研究課題とし、テラヘルツ波デバイスの作製 に関する研究指導を行う。

数理情報システム特別研究

当科目は、数理情報システム専攻に関する深い知識と応用力、関連技術分野に関する幅広い知識を獲得し、技術的問題の調査分析能力と課題設定・問題解決能力、社会・人間関係スキルを養うものである。な | 四級所へ能力, 社本・八間関係ヘイルを乗りものである。なお、当科目は修士論文作成の柱となる科目である。数理情報システム
| 専攻の専門分野における、いろいろな研究課題について実験を行う。
| 修士論文を作成するために、専門分野の研究における基本的かつ高度な手段となる実験装置、計測機器、情報処理等についての知識と技術を系統的に修得し、研究課題についての実験研究を行う。

(1 久保田繁)

太陽電池の光制御技術を研究課題とし、光学シミュレーション及び 数理最適化について研究指導を行う。

(2 小島武夫)

量子可積分系の対称性を研究課題とし、相関関数の厳密解の構成に 関する研究指導を行う。

(3 齊藤 敦)

6G移動体通信用フィルタの開発を研究課題とし, 導波管フィルタの 設計と作製に関する研究指導を行う。

(4 佐藤 学)

光波断層画像計測の研究開発を研究課題とし、フォトニクスと多次 元信号処理に関する研究指導を行う。

(5 高野勝美)

通信技術の高度化を研究課題とし、光通信システムの設計と評価運 用に関する研究指導を行う。

(6 中西正樹)

量子計算機の能力の解析を研究課題とし、各種オートマトンを用いた言語の認識可能性の証明や量子アルゴリズム開発に関する研究指導 を行う

(7 成田 克) (7 成田 克) | 次世代パワー半導体材料の高品質化を研究課題とし,半導体材料の 結晶成長に関する研究指導を行う。

(8 原 --夫)

高次元データに特有な現象の解明を研究課題とし、多様なデータ テキスト・画像・グラフ等) の表現学習に関する研究指導を行う。 (9 廣瀬文彦)

原子レベルで材料界面を制御することを特徴とした機能デバイスの 製造技術に関する研究指導を行う。

(10 深見忠典)

脳波計測および信号処理手法を用いて、非侵襲型ブレインコン ピュータインタフェースに関する研究指導を行う。 (11 方 青)

非線形反応拡散方程式の数値解法を研究課題とし、高精度の離散ス キームの開発とその数値解析に関する研究指導を行う。

(12 南谷靖史)

パワーエレクトロニクスを基礎とするパルスパワー技術を研究課題 とし、パルス発生回路の開発と応用に関する研究指導を行う。

(13 安田宗樹)

データサイエンスの深化を研究課題とし, 統計的機械学習理論に関 する研究指導を行う。

(14 山内泰樹)

心理物理学や感性評価の手法を応用して、色覚メカニズムや照明の 快適性に関する研究指導を行う。

(15 構山道央)

IoTセンサネットワークシステムを用いた信号解析を研究課題と システム設計とビッグデータ解析による健康生活支援に関する研 究指導を行う

(16 脇 克志) 画像データの分類と特徴抽出によるデータベース構築を研究課題と 目的に合わせた各種フィルターの適用方法と特徴抽出手法に関す る研究指導を行う。

(17 安達義也)

3d遷移金属化合物の磁気物性の解明を研究課題とし、高圧力下での 磁気物性に関する研究指導を行う。

(18 有馬ボシールアハンマド)

ナノテクノロジーを利用し、水の光分解から水素製造システムに関 する研究指導を行う。

(19 内澤 啓)

ニューラルネットワークの計算能力解明を研究課題とし、計算量理 論の数学的命題に関する研究指導を行う。

(20 大槻恭士)

人狼知能を研究課題とし、ヒューマンエージェントインタラクショ ン、機械学習、自然言語処理について研究指導を行う。

(21 大音隆男)

ナノ構造を基盤とした次世代発光デバイスの開発を研究課題とし, 発光デバイスの設計・作製手法や特性評価に関する研究指導を行う。

(22 奥山澄雄)

ガスセンサの特性向上を研究課題とし、固体式ガスセンサに関する 研究指導を行う

(23 木ノ内誠) ゲノムからの新たな生命情報抽出を研究課題とし,DNA塩基配列解 析に関する研究指導を行う。

(24 小池邦博)

次世代のグリーン電磁材料として期待される新規磁性材料の開発を 研究課題とし、マイクロマグネティックスとナノ磁石形成に関する研 究指導を行う

(25 齋藤 歩)

高性能数値シミュレーション技術の開発を研究課題とし、メッシュ レス法の高速化や精度向上に関する研究指導を行う。

(26 齋藤誠紀)

フュージョンエネルギーに関するシミュレーションを研究課題と し、主にプラズマと材料の相互作用を数値解析する技術について研究 指導を行う

(27 杉本俊之)

静電気応用技術の新展開を研究課題とし、静電センサーによるによ るインフラ劣化点検や静電塗装、静電造粒、静電粒子ハンドリング等 の指導を行う

(28 高山彰優)

高性能電磁界解析の開発を研究課題とし, 高温超伝導体内遮蔽電流 密度の時間発展シミュレーションとその応用に関する研究指導を行

(29 多田十丘衛)

計算機の高性能化・低消費エネルギー化を研究課題とし、プロセッ サ及びメモリシステムの設計に関する研究指導を行う。

(30 田中 敦)

複雑系システムの解明を研究課題とし、自律分散系のデータ分析と 数値解析に関する研究指導を行う。

(31 ディエズ ドノソ サンティヤゴ) コンピュータービジョンとディープラーニング技術を使用して,応 用問題を解決する。 例としては、古文書内の漢字の検出、ドローン 用向短を解伏する。 PJC しては、ロスョコンスコンスロー、 一画像内のさまざまな種類の樹木の検出、公共のマンモグラフィーデータベースからの癌画像の分類などがある。

(32 早田孝博)

球充填問題に対するボロノイの手法を用いて、対称領域上への応用 や一般化について研究指導を行う。

(33 柳田裕隆)

音波の空間計測と空間制御を課題とし、音響信号処理と画像処理、 および深層学習に関する研究指導を行う。

(34 荒井 隆)

質的データに対するデータ分析手法の開発を研究課題とし、統計モ デルのプログラミングによる実装や、実データへの適用に関する研究 指導を行う

(35 榊原由貴)

宇宙論的格子シミュレーション手法を用いた初期宇宙起源の重力 波・暗黒物質候補研究について指導する。

(36 高橋茶子)

敵対的攻撃や能動学習など機械学習に関連する課題を取り上げ、確 率モデルに基づく問題解決について研究指導を行う。

(37 武田利浩)

インターネット上の情報の伝播や拡散を研究課題とし、SNS上の会 話の分析や可視化に関する研究指導を行う

(38 原田知親)

集積化マルチセンサと極低電圧動作情報処理集積回路の開発, IoT/ICT技術を用いた「人・モノの見える化」を研究課題とし、トランジスタベースのマルチセンサデバイスの設計・作製と、PWM信号による極低電圧情報処理回路の設計・試作、IoT技術を用いた複合セン サデータ収集・解析システムの設計・作製に関する研究指導を行う。 (39 山田博信)

テラヘルツ波の応用を研究課題とし,テラヘルツ波デバイスの作製 に関する研究指導を行う。

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、 その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出 を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、 この書類を作成する必要はない
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業 科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入 すること。